令和3～5年度
東京都国際交流コンシェルジュ
国際交流事例集

（公財）東京都教育支援機構

事例紹介

手紙・カードやメールの交換

小学校

カード交換

あきる野市立増戸小学校
台湾の学校とのカード交換

1. 相手校への送付日

2022年７月27日（水）

2. 参　加　者

あきる野市立増戸小学校（都側）
英語クラブ４～６年生　 19 名

3. 交 流 相 手

台湾
再興學校小學部

↑児童が作成したカード

4. 実施までのスケジュール

① <u>カードの作成</u>

② <u>学校から事務局へカードの郵送</u>

③ <u>カードの発送</u>

・コンシェルジュ事務局より交流相手校へカードを発送

5. カードの内容等

◆ 日本らしいイラストや折り紙等が添えられ、海外の児童にも大変喜ばれそうな仕上がりとなっていた。

◆ カードには、児童の名前と好きなもの等が英語で丁寧に書かれていた。

◆ 交流相手校からは、「大変かわいらしいカードで、英語のライティングもとてもきれい！」との感想が寄せられた。

カード交換

練馬区立大泉西小学校

香港の学校とのカード交換

1. 相手校への送付日

2022年12月27日（火）

2. 参　加　者

練馬区立大泉西小学校（都側）
３年生　２クラス　59 名

3. 交 流 相 手

香港
St. Margarets Co-Educational English Secondary ＆ Primary School

↑２枚１組で作成されたカード

4. 実施までのスケジュール

① <u>カードの作成</u>

② <u>学校から事務局へカードの郵送</u>

・大泉西小学校よりコンシェルジュ事務局へカードを郵送

③ <u>カードの発送</u>

・コンシェルジュ事務局より交流相手校へカードを発送

5. カードの内容等

◆ 児童は2人１組で１枚の年賀状を作成した。

◆ 児童はカードにHAPPY NEW YEAR等の挨拶や名前、好きなもの等を書き、各自、年賀状らしいイラストを添えた。

動画交流

杉並区立新泉和泉小学校
オーストラリアの学校との動画交換

1. 相手校への送付日

2023年７月20日（木）

2. 参　加　者

杉並区立新泉和泉小学校（都側）
５年３組　33名

3. 交 流 相 手

オーストラリア連邦
Oakleigh South Primary School
（小学校）

↑新泉和泉小の動画

↑都側のビデオを熱心に視聴する
オーストラリア側の児童

自己紹介をする児童→

4. スケジュール

① 新泉和泉小学校にて動画の作成

② 動画のアップロード（都側から）
・学校から事務局に動画の共有

③ Oakleigh South 小学校にて動画の作成

④ 動画のアップロード（オーストラリア側から）
・学校から事務局に動画の共有

5. その他

◆ 予定しているオンライン交流の前段階として、自己紹介動画を交換した。

◆ 日本語を勉強しているオーストラリアの児童からは、日本語と英語の動画が届いた。「みんな英語が上手だね！」、「交流会を楽しみにしているよ」等のメッセージがあり、オンライン交流に向けて高揚感を増す内容となっていた。

カード交流

八王子市立鹿島小学校
台湾の学校とのカード交流

1. 相手校への送付日

2023年12月21日(木)

2. 参　加　者

八王子市立鹿島小学校（都側）
４年１組　22名

3. 交 流 相 手

台湾　台北市
Huai Sheng Elementary School

↑鹿島小学校の児童が作成したカード

↑Huai Sheng小学校の児童が作成したカード

4. スケジュール

① カードの作成

② 事務局へカードを郵送
・鹿島小学校よりコンシェルジュ事務局へカードを郵送

③ 交流校への郵送
・事務局より交流相手校へカードを郵送

④ 交流校からのカード受領
・事務局が交流相手校からのカードを受領

⑤ 鹿島小学校へカードを郵送
・交流相手校から受領したカードを事務局より鹿島小学校へ郵送

5. その他

◆昨年度、オンライン交流等を実施した台湾の Huai Sheng小学校とカード交流を行った。

◆鹿島小学校が22名の小規模なクラスだったため、台湾側の２クラスの児童を２～３人のグループに分けて数を合わせてもらい、交流を実施した。

◆台湾側からのカードには、自己紹介や好きな食べ物、好きなスポーツ等が記入されていた。また、鹿島小学校近くにあるテーマパークや公園、山等の名前をあげて、「その場所に行きたい」といった希望が書かれているカードもあった。

中学校

カード交換

港区立三田中学校
ベトナムの学校とのカード交換

1. 相手校への送付日

2023年４月20日（木）

2. 参　加　者

港区立三田中学校（都側）
１～３年生　16名

3. 交 流 相 手

ベトナム
Be Van Dan Secondary School

Dear Friends,
My name is　　I'm from Japan, I live in Tokyo Japan.
I'm good at English.
What is your hobby?　My hobby is listening to music.
I especially listen to foreign languages. I like to watch the videos, too.
What is your favorite annual event?　I like Christmas.
because my birthday is at Christmas time and I like the warm atmosphere.
I want to hear about your country and many other things.
1st grade, Mita junior high school in japan.

↑三田中学校の生徒が作成したカード

↑ベトナムの生徒が作成したカード

4. スケジュール

① 学校から事務局に交流申込・カードの作成

② 交流校の決定

③ 学校から事務局へカードの送付

④ 事務局から交流相手校へカードの送付

⑤ 交流相手校から送られたカードを学校が受領

5. カードの内容等

◆ 三田中学校の生徒は、Wordを使用し、写真・イラストをあしらった華やかなカードを英語で作成した。

◆日本について勉強しているベトナムの生徒のカードには、日本語が使われていた。

◆ カード交換は、Googleドライブを使用してウェブ上で行われた。

高等学校

カード交換

東京都立板橋有徳高等学校
ポーランドの学校とのカード交換

1. 相手校への送付日

2022年7月26日（火）

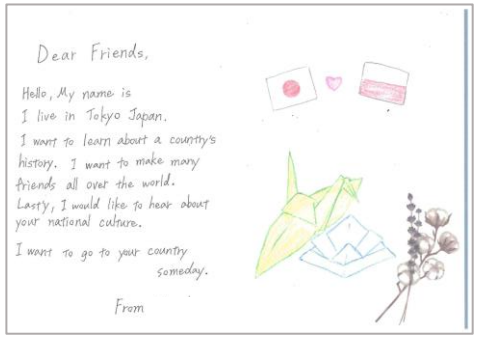
2. 参　加　者

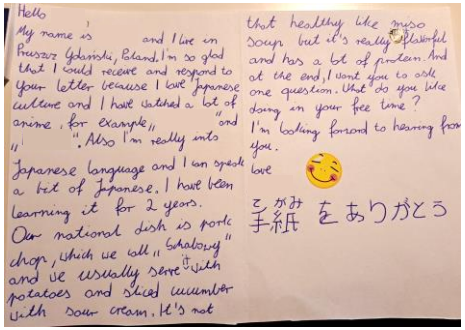
東京都立板橋有徳高等学校（都側）
国際交流委員　７名

3. 交 流 相 手

ポーランド共和国
Zespół Szkół Ogrodniczych i Ogólnokształcących

板橋有徳高校の生徒が
作成したカード→
↓





←↑ポーランド側の生徒が
作成したカード

4. スケジュール

① <u>カードの作成</u>

② <u>学校から事務局へカードの郵送</u>
・板橋有徳高校よりコンシェルジュ事務局へカードを郵送

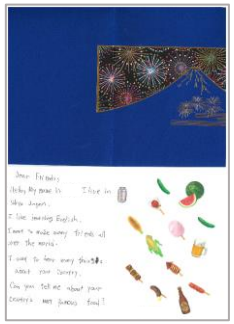
③ <u>カードの発送</u>
・コンシェルジュ事務局より交流相手校へカードを郵送

5. その他

◆ポーランドとビデオチャット交流を行った際、一部の生徒から、「ポーランドの学校とカード交換を行いたい」と希望があり、今回の交流実施に至った。
◆生徒は和風のカードを用意し、手書きでメッセージを添えた。

6. オーストラリアの学校とのカード交流

◆板橋有徳高校は、ポーランドとの交流後に、オーストラリアのLindisfarne Anglican Grammar Schoolともカード交換交流を行いました。



↑板橋有徳高校の生徒（13名）は、
日本らしい台紙を用意してカードを作成しました。

↑オーストラリアからは、
15通のクリスマスカードを受領しました。

カード交流

東京都立上水高等学校
アメリカの学校とのカード交流

1. 相手校への送付日

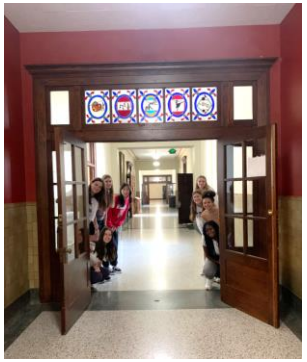
2023年11月22日(水)

2. 参　加　者

東京都立上水高等学校（都側）
異文化交流（選択授業）10名

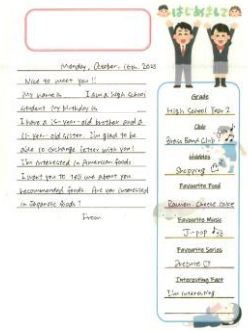
3. 交 流 相 手

アメリカ合衆国　ウィスコンシン州
Edgewood High School



↑Edgewood High School の生徒

↑自己紹介・学校紹介カード



ペア相手へのカード↑

4. スケジュール

① カードの作成

② 両校からクラウドにカードをアップロード
・2学期に入りそれぞれが自己紹介・学校紹介カードを作成し、クラウドにアップロード

③ ペアを決めてカードを作成・アップロード
・両校でペアを決め、相手に個別でカードを作成してクラウドにアップロード

④ グリーティングカードを実際に交換

5. その他

◆生徒同士でペアを決め、文化的行事の過ごし方についてカードを作成した。

◆Edgewood High School からは、スマイルクラブという、地域で音楽やクラフトなどのボランティア活動を行う部活動に所属している生徒が参加した。

事例紹介

オンライン交流

小学校

ビデオチャット

八王子市立鹿島小学校

オーストラリアの学校とのビデオチャット交流

1. 日時・場所

日時：2021年6月24日（木）
　　10：30～11：10
場所：Skypeによる開催

2. 参　加　者

八王子市立鹿島小学校（都側）
４年生　20名

3. 交 流 相 手

オーストラリア連邦
（タスマニア州）
Holy Rosary Catholic School

↑ビデオチャットのセット

↑じゃんけん大会

↑オーストラリア側からの質問に対して
積極的に手を挙げる日本側の児童たち

4. 当日のスケジュール

① オーストラリアの紹介（コンシェルジュから）
② タスマニアの紹介（オーストラリア側から）
　例）タスマニアが地図のどこに位置しているか。
③ 各テーマに沿ってグループごとに発表
　（日本側とオーストラリア側が交互に発表）
　例）好きなアニメや漫画、キャラクター、食べ物、
　　動物、ダンス　等
④ じゃんけん大会
⑤ 終わりの挨拶

5. 参加者の様子等

◆ お互いに知っていることがあったり、好きなものが共通していたりすると、とても盛り上がっていた。
◆ 日本側の児童が音楽に合わせてダンスを披露した際、両校とも非常に楽しそうにしていた。
◆ チーム戦で行ったじゃんけん大会は、とても盛り上がっていた。
◆ コンシェルジュで通訳や司会をさせていただき、交流会はスムーズに進んだ。
◆ ビデオチャットの終了後は、日本側の児童から「楽しかった！」という声が聞こえた。

ビデオチャット交流

板橋区立赤塚新町小学校

オーストラリアの学校とのビデオチャット交流

1. 日時・場所

日時：2022年6月6日（月）
11：00～11：45
場所：板橋区立赤塚新町小学校

2. 参　加　者

板橋区立赤塚新町小学校（都側）
5年生　33 名

3. 交 流 相 手

オーストラリア連邦
Grand Avenue State School

↑手を振って挨拶

↑オーストラリア側の児童による日本語での発表に拍手を送る児童たち

4. 当日のスケジュール

① オーストラリアの紹介（コンシェルジュから）
② 各テーマに沿ってグループごとに発表
（都側とオーストラリア側が交互に発表）
例）好きな食べ物、アニメ、季節、ゲーム、教科、動物等
③ じゃんけん大会
④ お誕生日の児童への「ハッピーバースデー」合唱
（都側、オーストラリア側合同）
⑤ 終わりの挨拶

5. 参加者の様子等

◆ 赤塚新町小学校の児童にとって初めてのビデオチャット交流であったが、活発に会話を楽しんでいた。
◆ 交流途中から「楽しい！」との声があがり、特にアニメやゲームの紹介時には大変盛り上がっていた。
◆ オーストラリア側の好きな食べ物の発表時に両国で有名なハンバーガーショップが紹介されると、児童はとても喜んでおり、国は違っても共通点があることを実感しているようであった。
◆ 最後のじゃんけん大会には、担任教諭のはからいで当日に誕生日を迎えた2名の児童が代表に選ばれ、それを聞いたオーストラリア側の提案で「ハッピーバースデー」の大合唱が行われた。

ビデオチャット交流

葛飾区立東柴又小学校

オーストラリアの学校とのビデオチャット交流

1. 日時・場所

日時：2022年6月14日（火）
11：00～11：40
場所：葛飾区立東柴又小学校

2. 参　加　者

葛飾区立東柴又小学校（都側）
5年生　25 名

3. 交 流 相 手

オーストラリア連邦
Holy Rosary State School

↑グループごとにトピックに沿って発表をする生徒

↑交流校から紹介された日本の「でんでん太鼓」

4. 当日のスケジュール

① オーストラリアの学校紹介（コンシェルジュから）

② 各テーマに沿ってグループごとに発表
（都側とオーストラリア側が交互に発表）
トピック：場所、動物、特産品、工芸品、アニメ、
スポーツ等

③ じゃんけん大会

④ 挨拶

5. 参加者の様子等

◆バーチャル地球儀の機能を使い、自校から交流校にジャンプするところから交流がスタートした。
◆場所のトピックでは、児童は、鎌倉の大仏や法隆寺、雷門の近くには多くのお店がある事などを紹介した。また、相手校から、美しく広い海岸等の紹介がされると、ワーッと声をあげて、反応していた。
◆動物のトピックでは、タスマニアタイガーやタスマニアデビルが紹介された。
◆特産品のトピックでは、相手校から日本の「でんでん太鼓」の紹介があり、児童は、沢山の日本文化が浸透していることに驚いていた。
◆最後はじゃんけん大会で盛り上がって、終了した。児童は口々に「楽しかった。またやりたい。」と言っていた。

ビデオチャット交流

品川区立城南小学校

オーストラリアの学校とのビデオチャット交流

1. 日時・場所

日時：2022年6月17日（金）
11：00～11：40
場所：品川区立城南小学校

2. 参　加　者

品川区立城南小学校（都側）
2年生　58 名

3. 交 流 相 手

オーストラリア連邦
Grand Avenue State School

↑小学校のはっぴを着て日本の行事の紹介

↑コマ回しやあやとり、お手玉などを披露

4. 当日のスケジュール

① オーストラリアの学校紹介（コンシェルジュから）

② 各テーマに沿ってグループごとに発表
（都側とオーストラリア側が交互に発表）
トピック：学校紹介、遊び、アニメ、習い事、
お菓子、行事等

③ じゃんけん大会

④ 挨拶

5. 参加者の様子等

◆交流の最中は、英語で話す児童も日本語だけの児童もいた。

◆よく食べているお菓子のトピックでは、日本で人気のスナック菓子などを、「日本のお菓子はおいしいです。ぜひ食べて下さい。」と紹介していた。

◆じゃんけん大会では4人の日直の児童が代表として参加し、1勝3敗で負けてしまったが、盛り上がっている様子だった。

◆交流後に、都側の児童から日本とオーストラリアの共通点・異なる点の発表があった。長く続いているアニメが人気であることが共通している、相手校の児童はマスクをしていなかったり、机がグループ毎になっていたりする点は異なる、といった発見があった。

ビデオチャット交流

西東京市立向台小学校

オーストラリアの学校とのビデオチャット交流

1. 日時・場所

日時：2022年6月23日（木）
10：30～11：15
場所：西東京市立向台小学校

2. 参　加　者

西東京市立向台小学校（都側）
5年生　37名

3. 交 流 相 手

オーストラリア連邦
Holy Rosary Catholic School

←児童の座る位置の目印として、テーマを書いた紙が置かれた

←けん玉を披露する児童

↑じゃんけんに勝ち喜ぶ児童たち

4. 当日のスケジュール

① オーストラリアの紹介（コンシェルジュから）

② 各テーマに沿ってグループごとに発表

（都側とオーストラリア側が交互に発表）

トピック：好きな食べもの、好きなスポーツ、好きなゲーム、行ってみたい国・場所 等

③ じゃんけん大会

④ 終わりの挨拶

5. 参加者の様子等

◆開始前、児童たちは談笑したり、特技を披露する準備をしたりと、リラックスしている様子であった。

◆「My favorite ~ is …」の表現を用いて、各児童の好きなものをオーストラリア側に伝えた。

◆都側の児童が、行きたい場所としてグレートバリアリーフを挙げたところ、オーストラリア側の教諭は、自ら撮影した海の写真を見せてくれた。

ビデオチャット交流

江戸川区立船堀第二小学校

香港の学校とのビデオチャット交流

1. 日時・場所

日時：2023年5月23日（火）
11：30～12：15
場所：江戸川区立船堀第二小学校

2. 参　加　者

江戸川区立船堀第二小学校（都側）
６年１組　39名

3. 交 流 相 手

香港 Tang Shiu Kin
Primary School(TWGHs)
6年生　約40名

↑グループごとに発表を行っている様子

↑交流終了時に手を振り合う児童

4. 当日のスケジュール

① <u>６グループに分かれ、両校順番に発表</u>
- 船堀第二小学校：名前、誕生日、自分の好きなもの等について
- 香港TWGHs　　：名前、自分の好きなもの等について

② <u>質疑応答</u>
- 好きな食べ物、学習科目、学校行事、夏休みの時期、香港への訪問経験について等

③ <u>終わりの挨拶</u>

5. 参加者の様子等

◆香港側の児童は、写真で2階建てバスや鉄道の駅等、香港の風景を見せたり、テコンドーの演舞を披露したりした。

◆両校の児童の発表では、スポーツ、アニメ、休日の過ごし方等共通のテーマも多く見られた。

◆全グループ発表後の終わりの挨拶では、児童は元気よく手を振り合い、打ち解けた様子だった。

ビデオチャット交流

目黒区立東根小学校
インドネシアの学校とのビデオチャット交流

1. 日時・場所

日時：2023年６月７日（水）
　　８：50～９：35
場所：目黒区立東根小学校

2. 参　加　者

目黒区立東根小学校（都側）
5年2組　35名

3. 交 流 相 手

インドネシア共和国
１～３年生　約７名

↑インドネシア側の紹介を熱心に聞いている児童

↑東根小学校の児童の発表

4. 当日のスケジュール

① 挨拶

・両校の児童・生徒による母語での挨拶

② 都側の発表

・自校や日本の文化について紹介

③ インドネシア側の発表

・インドネシアの文化について紹介

④ 両校の児童・生徒から感想や質問

⑤ 都側の代表児童から、終わりの挨拶

5. 参加者の様子等

◆インドネシア側の生徒は、東根小学校の児童の発表に対して必ずリアクションを取っていた。また、交流が進むと、両校の児童は頻繁に手を振り合ったり、拍手をしたりしていた。

◆南中ソーランの動画に対して、インドネシア側から大きなリアクションがあり、東根小学校の児童は嬉しそうな様子だった。

◆インドネシアの料理に関する発表の際には、じっくりと話を聞く児童が多く見られた。また、発表終了後、担当の先生に英語の意味を聞きに行く児童もいた。

ビデオチャット交流

足立区立新田学園新田小学校

オーストラリアの学校とのビデオチャット交流

1. 日時・場所

日時：2023年６月16日（金）
　　11：15～12：15
場所：足立区立新田学園新田小学校

2. 参　加　者

足立区立新田学園新田小学校（都側）
６年１組　29名

3. 交 流 相 手

オーストラリア連邦
Grand Avenue State School

↑スポーツグループの児童は、各自好きなスポーツを紹介した後、ボールを使って実演した。

4. 当日のスケジュール

① 挨拶
② ５グループに分かれ、テーマについて交互に発表
　・アニメ、ゲーム、マンガ、動物、スポーツ
③ フリータイム
　・質疑応答
　・合唱(校歌)
④ 双方代表児童３名によるジャンケン大会
⑤ 終了の挨拶

5. 参加者の様子等

◆新田小学校の児童は、用意した画像を見せながら、グループに分かれて自己紹介と好きなことについて発表した。スポーツについて発表したグループは、実際の競技を披露した。

◆動物のテーマで、都側の児童が飼っているウサギを紹介すると、オーストラリア側は、クイーンズランド州ではウサギを飼えない法律があることを教えてくれた。

◆新田小学校の児童が全員で校歌を歌うと、オーストラリア側の児童もお返しにスクールソングを歌ってくれた。

ビデオチャット交流

大田区立嶺町小学校

台湾の学校とのビデオチャット交流

1. 日時・場所

日時：2023年９月26日（火）
10：50～11：30
場所：大田区立嶺町小学校

2. 参　加　者

大田区立嶺町小学校（都側）
５年３組　30名

3. 交 流 相 手

台湾　台北市
Tsai Hsing Elementary School
４年生　42名
５年生　30名

↑児童の発表に対して多くの感想を述べてくれた
ALTの先生方

↑クイズを英語で説明する児童

4. 当日のスケジュール

① 挨拶（都側：英語、台湾側：日本語）
② 都側の発表
　・自己紹介とクイズ
③ 台湾側の発表
　・自己紹介と台湾クイズ
④ フリートーク
⑤ 都側、台湾側より質疑応答
⑥ 閉会のあいさつ

5. 参加者の様子等

◆開始前、嶺町小学校の児童はALTの先生方に対してクイズ出題の練習をした。

◆児童は、ALTの先生方に指摘された点を修正し、本番の発表に臨んだ。

◆都側と台湾側で各５グループに分かれ、交互に自己紹介及びクイズの出題を行った。

◆最後に、モニターの画面前に児童が集まり、記念撮影を行った。

ビデオチャット交流

練馬区立上石神井小学校

オーストラリアの学校とのビデオチャット交流

1. 日時・場所

日時：2023年11月29日（水）
9：30-10：15
場所：練馬区立上石神井小学校

2. 参　加　者

練馬区立上石神井小学校（都側）
４年生　30名

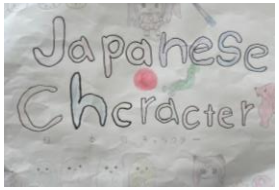
3. 交 流 相 手

オーストラリア連邦
クイーンズランド州
McDowall State School

↑積極的に手を挙げる児童

↑「趣味グループ」の
児童が作ったバッグ

↑ルービックキューブは
その場で6面を完成！



←トピックを書いた紙

4. 当日のスケジュール

① 交流校紹介（Map機能を使って、交流校へジャンプ）
② 担任挨拶
③ グループごとに好きなことを発表
　・文化
　・食
　・趣味
　・有名な場所
　・日本製のキャラクター
④ 終わりの挨拶

5. 参加者の様子等

◆黒板には『明るく元気にアイコンタクト』と書かれており、そのとおり元気いっぱいの交流となった。

◆オーストラリア側の児童は日本語を学んでいるため、交流は英語と日本語の両方で行われた。

◆「有名な場所グループ」の発表では、オーストラリア側の児童からMOVIE WORLDという遊園地が大人気だと紹介された。

◆日本のキャラクターはオーストラリア側児童にも人気で、画像を見せると、その都度 ”Cute!” 等の声があがった。

中学校

ビデオチャット交流

千代田区立麹町中学校

シンガポールの学校とのビデオチャット交流

1. 日時・場所

日時：2022年10月26日（水）
第１部　９:50～10:30
第２部　10:45～11:30
場所：千代田区立麹町中学校

2. 参　加　者

千代田区立麹町中学校（都側）
３年生　120名

3. 交 流 相 手

シンガポール
Hougang Secondary School　75名

グループごとに交流をしている様子↑→

4. 当日のスケジュール

① シンガポールの教員による挨拶

② 麹町中学校の教員による挨拶

③ 双方の代表生徒による学校紹介

④ グループに分かれて自己紹介

・趣味、好きなもの等について自由に話し合い

⑤ 全員が集合し、終わりの挨拶

5. 参加者の様子等

◆ ２部制で、３年生全員が参加した。

◆教室・合同教室・カフェテリアを使用し、各セッションごとに18グループに分かれて、シンガポールの生徒と交流を行った。

◆生徒１名につきPCを１台ずつ使用した。最初は通信状況が不安定な時もあったが、徐々に交流がスムーズに進むようになった。
また、ハウリング防止のため、全員ヘッドセットを着用した。

◆文法や単語を気にするよりも、積極的な会話によるコミュニケーションを優先した交流会であったため、全員が主体的に参加することができた。

ビデオチャット交流

港区立青山中学校

韓国の学校とのビデオチャット交流

1. 日時・場所

日時：2023年10月6日（金）
16：00～16：50
場所：港区立青山中学校

2. 参　加　者

港区立青山中学校（都側）
国際交流部　4名

3. 交 流 相 手

大韓民国　仁川市
Dongbang Middle School
７名

↑韓国側の学校紹介を観る

↑終わりの挨拶

4. 当日のスケジュール

① 全体で挨拶

② 参加者全員の自己紹介

③ 感想・質問

④ 情報交換（フリートーク）

⑤ 終わりの挨拶

5. 参加者の様子等

◆韓国側は日本語を学んでいる生徒たちであったため、日本語の「こんにちは」の挨拶から始まった。

◆青山中学校の生徒が韓国語で自己紹介を行ったところ、韓国の生徒たちも喜んでくれた。

◆青山中学校は「東京タワー」について調べたことを発表した。

◆フリートークでは食にまつわる話が多く出た。仁川市は海に面しており、海産物が有名で、エビ・カニ・貝の入ったカルグクス（手打ちの麺料理）が人気と紹介された。

ビデオチャット交流

江戸川区立篠崎中学校

韓国の学校とのビデオチャット交流

1. 日時・場所

日時：2023年12月５日（火）
15：50～16：30
場所：江戸川区立篠崎中学校

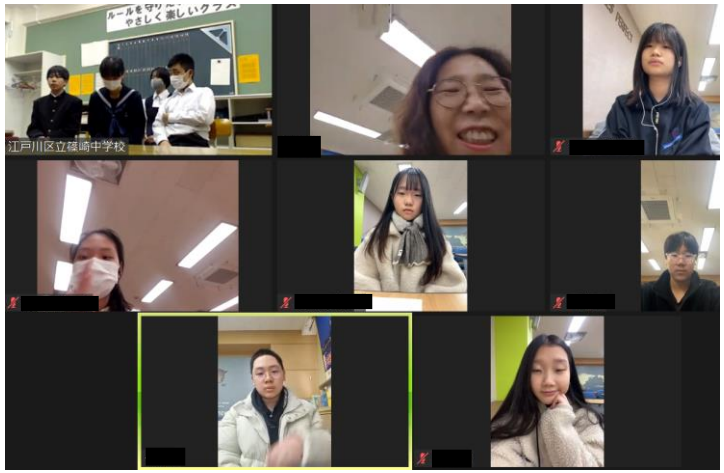
2. 参　加　者

江戸川区立篠崎中学校（都側）

英語部　１-３年生　４名

3. 交 流 相 手

大韓民国　仁川市
Shinsong Middle School
７-９年生（日本の中学１-３年生）
６名



↑英語、日本語、韓国語を使って交流

↑TVのスクリーンとPCを用いて交流を行った

4. 当日のスケジュール

① 挨拶

② オンライン交流

・都側発表　：自己紹介・質問（各５分）

・韓国側発表：自己紹介（10分）・質問（５分）

① フリートーク

② 終わりの挨拶

5. 参加者の様子等

◆ ２週連続の交流の第１週目で、自己紹介や質問が中心の交流となった。

◆ 生徒たちは、それぞれ一つずつ質問を考え、順番に回答し合っていた。

◆ 都側の生徒からは、「辛い料理は好きですか？」等、韓国側の生徒からは「日本のコンビニでおすすめの商品は？」等、お互いの国の文化や生活に関する質問が多くあった。

高等学校

ビデオチャット

東京都立杉並高等学校
台湾の学校とのビデオチャット交流

1. 日時・場所

日時：2021年10月6日（水）
　　13：00～14：20
場所：東京都立杉並高等学校

2. 参　加　者

東京都立杉並高等学校（都側）
１年生　７クラス
２年生　８クラス
　計　15クラス

3. 交 流 相 手

台湾　臺中家事商業高級中等學校

↑日本側の給食に関する発表

↑伝統楽器を演奏する台湾側の生徒

↑教室の様子

4. 当日のスケジュール

① 両校の校長による挨拶
② 両校の生徒代表による挨拶
③ 台湾の食文化に関する発表（台湾側から）
④ 日本文化に関する発表（日本側から）
　・伝統楽器、和食、挨拶、歌曲、和服、給食
⑤ 伝統楽器の演奏（台湾側から）
⑥ アカペラによる合唱（日本側から）
⑦ 画面上での記念撮影
（全て英語で実施）

5. 参加者の様子等

◆例年は２年生が修学旅行で台湾を訪問し、臺中家事商業高級中等学校と交流を行っていたが、修学旅行が中止となったため、今回の交流が実施された。

◆発表等がない生徒たちも集中して画面を見ていた。

◆各教室にパソコン、プロジェクター、スクリーン等が設置され、無線のインターネット接続が可能だった。

ビデオチャット交流

東京都立足立西高等学校
韓国の学校とのビデオチャット交流

1. 日時・場所

日時：2022年6月13日（月）
17：20～18：30
場所：東京都立足立西高等学校

2. 参　加　者

東京都立足立西高等学校（都側）
1～3年生　10 名

3. 交 流 相 手

大韓民国
陶唐高校

↑交流の始めに全員でアイスブレイクを実施

↑少人数に分かれて会話を楽しむ生徒たち

4. 当日のスケジュール

① 挨拶
・日本語が堪能な韓国側の教諭のリードで、自己紹介を兼ねたアイスブレイクを実施

② 対話
・2～3名ずつブレイクアウトルームへ分かれ、韓国語と日本語を織り交ぜて会話

③ 終わりの挨拶
・再び全員が集合し、挨拶をして終了

5. 参加者の様子等

◆ 都側及び韓国側の生徒は、一人1台タブレット端末を使用し、オンライン会議システムのブレイクアウトルームを活用して交流を行った。

◆ 足立西高等学校では、韓国語の授業は実施していないものの、担当教諭の呼びかけに集まった韓国や韓国語に興味のある生徒10名が参加した。あらかじめ準備しておいた自己紹介用の韓国語や日本語を織り交ぜて会話を楽しんでいた。

◆ 終了後、参加生徒からは、もっと韓国語を学習する必要があるとの声があがっていた。

ビデオチャット交流

東京都立若葉総合高等学校

ポーランドの学校とのビデオチャット交流

1. 日時・場所

日時：2022年12月9日（金）
16：00～17：05
場所：
東京都立若葉総合高等学校

2. 参　加　者

東京都立若葉総合高等学校（都側）
英語クラブ２、３年生　4名

3. 交 流 相 手

ポーランド共和国
Czech Republic School

↑ポーランド側からおすすめスポットの紹介

↑ポーランドのハンドサインを用いた交流

4. 当日のスケジュール

① <u>挨拶</u>

・英語クラブの生徒及びポーランドの生徒による挨拶

② <u>自己紹介と各トピックの発表</u>

トピック：将来の夢、好きな食べ物、ポーランドの文化、
好きなこと、日本のおすすめの場所　等

③ <u>終わりの挨拶</u>

5. 参加者の様子等

◆若葉総合高校の生徒がスマートフォンの画像を見せながら各トピックについて説明すると非常に盛り上がり、さらに他の話題へと会話が発展していった。

◆和菓子の話題が出ると、ポーランド側の生徒が自国のスイーツの画像を画面に共有した。若葉総合高校の生徒からは「おいしそう！」等と反応があり、会話が弾んだ。

◆少人数での和やかな交流で、有意義な時間となった。

ビデオチャット交流

東京都立若葉総合高等学校

ポーランドの学校とのビデオチャット交流

1. 日時・場所

日時：2023年5月12日（金）
16：00～17：00
場所：東京都立若葉総合高等学校

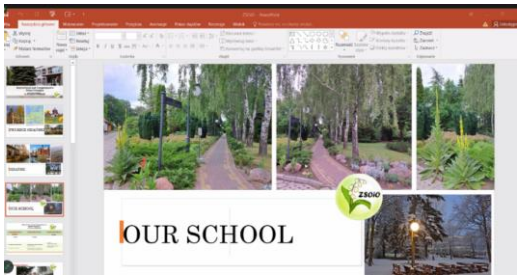
2. 参　加　者

東京都立若葉総合高等学校（都側）
２年生・３年生　5名

3. 交 流 相 手

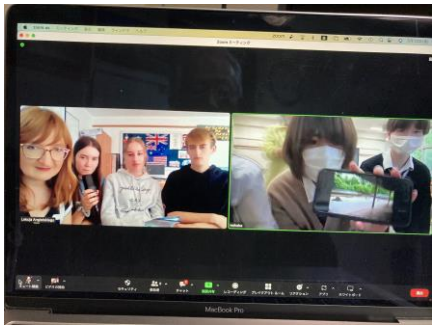
ポーランド共和国
Zespół Szkół Ogrodniczych i Ogólnokształcących

↑ポーランドの生徒がダンスコンテストに出すために作成したビデオ



↑ポーランド側の学校の庭園を紹介するスライド

↓枯山水を紹介する若葉総合高校の生徒



4. 当日のスケジュール

① 挨拶

② 若葉総合高校の生徒から発表

・趣味や日本の伝統文化等について発表・質疑応答

③ ポーランド側の生徒から発表

・学校の設備等や試験、音楽等について発表・質疑応答

④ 終わりの挨拶

5. 参加者の様子等

◆若葉総合高校の生徒は、スマートフォンで京都竜安寺の枯山水の庭園の画像を見せながら、英語で紹介を行った。

◆ポーランド側からは、実際に試験で出題された英語のテスト問題が紹介され、東京の学校の試験や勉強について質問があがった。

◆ポーランド側は、若葉総合高校の生徒が発表した好きなアーティストの曲を使用して撮影された、ダンスコンテスト用の動画を紹介した。

ビデオチャット交流

東京都立上水高等学校
タイの学校とのビデオチャット交流

1. 日時・場所

日時：2023年７月10日（月）
14：30～15：30
場所：東京都立上水高等学校

2. 参　加　者

東京都立上水高等学校（都側）
２年　10名

3. 交 流 相 手

タイ王国
Saipanya Rangsit School
３年生　19名

↑自分の制服について説明

↑タイ舞踊の実演

↑グループに分かれて交流

4. 当日のスケジュール

① 挨拶
・双方の母国語で挨拶
② 発表(都側→タイ側)
・都側からは各生徒の制服および文化の紹介
・タイからは料理、祭り、伝統衣装、ムエタイ・タイ舞踊の４つのジャンルを紹介
③ 感想、質疑応答
④ フリートーク
・２グループに分かれて、10分程度のフリートーク
⑤ 終了の挨拶

5. 参加者の様子等

◆文化についての発表では、生徒たちが手描きのイラストなどを見せて説明し、タイの生徒にも伝わった様子だった。

◆ タイ料理の説明では、「トーキョー」というお菓子が紹介され、都側の生徒は詳しい内容について質問をしていた。

◆ムエタイ・タイ舞踊の紹介では、それぞれタイの女子生徒、男子生徒がカメラの前で実演をしてくれた。

ビデオチャット交流

東京都立井草高等学校
マレーシアの学校とのビデオチャット交流

1. 日時・場所

日時：2023年10月２日（月）
　　15：15～16：40
場所：東京都立井草高等学校

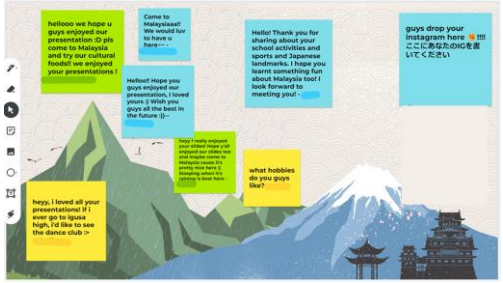
2. 参　加　者

東京都立井草高校（都側）
有志の生徒１～３年生 14名

3. 交 流 相 手

マレーシア　セランゴール州
Sri KDU Secondary School
Secondary３ 約20名

↑弓道について説明



←できあがった
Jamboard

最後の記念撮影→

4. 当日のスケジュール

① 自己紹介
② 両校の学校紹介
③ 井草高校からの発表
　・あらかじめ用意した４つのテーマについて、
　　パワーポイントにより発表
④ マレーシア側から同国の紹介
⑤ 両校生徒参加のJamboard Sessionにて意見交換
⑥ 記念写真撮影

5. 参加者の様子等

◆井草高校の生徒は、4グループ（日本の食文化・伝統スポーツ・観光地・観光施設）に分かれて発表した。

◆マレーシア側は、井草高校が来年度予定しているマレーシアへの修学旅行に役立つ観光地情報等について発表した。

◆両校生徒によるJamboard Sessionでは、Jamboard（電子ホワイトボード）が、両校の生徒たちの意見・感想でみるみる埋まっていった。

◆井草高校の参加生徒からは「スピーキング学習の意欲が高まった」という意見が多く寄せられた。

ビデオチャット交流

東京都立片倉高等学校
シンガポールの学校とのビデオチャット交流

1. 日時・場所

日時：2023年10月13日（金）
13：20～14：10
場所：東京都立片倉高等学校

2. 参　加　者

東京都立片倉高等学校（都側）
造形美術コース　１年生　39名

3. 交 流 相 手

シンガポール共和国
School of the Arts, Singapore (SOTA)
Secondary３　約20名

↑交流の流れについてSOTAからの説明を聞く片倉高校の生徒

片倉高校造形美術コースの生徒の作品について概要説明をする様子↓

↑出来上がったPadlet

8グループに分かれブレイクアウトルームで交流する様子　→

4. 当日のスケジュール

① 全体で相互に挨拶

② 交流のプログラムについてSOTAから説明

③ 片倉高校・SOTAの学生が、それぞれの作品について概要説明

④ 両校の学生がブレイクアウトルームで交流

⑤ 終わりの挨拶

5. 参加者の様子等

◆交流までにオンラインの事前打合わせを２回行うなど準備を重ね、Padlet（オンライン掲示板アプリ）に作品を掲載した。

◆シンガポール側が授業で作成したお菓子のパッケージデザイン、都側が身近な施設をテーマにしたピクトグラム等を、英語で紹介した。

◆ブレイクアウトルームの交流では、片倉高校は３部屋を使い、自己紹介や自分の作品についての説明を行った。

◆同じ芸術系の領域を勉強している同年齢の生徒たちによる交流だったため、お互いに親近感が湧いたようだった。

ビデオチャット交流

東京都立三宅高等学校
韓国の学校とのビデオチャット交流

1. 日時・場所

日時：2023年11月１日（水）
　　15：50～16：40
場所：東京都立三宅高等学校

2. 参　加　者

東京都立三宅高等学校（都側）
１～３年生　13名

3. 交 流 相 手

大韓民国　仁川市
Hak Ik High School
１～２年生　11名

←　三宅島の位置や学校の設備
↓　(屋上プールや茶畑)を紹介

←Hak Ik高校の生徒が歌を披露し、三宅高校の生徒はタンバリンやマラカスで盛り上げた

4. 当日のスケジュール

① 挨拶

② 都側の生徒による学校及び三宅島の紹介

③ 韓国側の生徒による自己紹介及び仁川市の紹介

④ 質疑応答

⑤ 韓国側生徒による日本の歌の弾き語り

5. 参加者の様子等

◆両校は10月にも交流を行っていたため、冒頭から友好的な雰囲気で交流がスタートした。

◆両校とも、複数の学年の生徒が参加したため、同い年の生徒を見付けては盛り上がっていた。

◆両校はアニメやゲーム、音楽等、共通で盛り上がる話題も多く、言語でのコミュニケーションに加え、ジェスチャーを使って相手に気持ちを伝えようと努める生徒たちの明るさが際立つ交流会となった。

ビデオチャット交流

東京都立本所高等学校

ポーランドの学校とのビデオチャット交流

1. 日時・場所

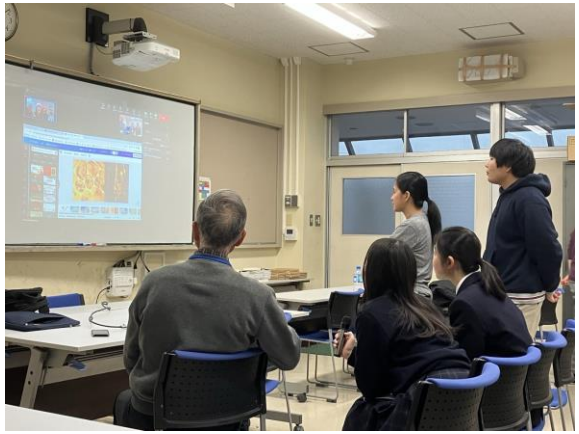
日時：2023年12月８日（金）
16：00～17：00
場所：東京都立本所高等学校

2. 参　加　者

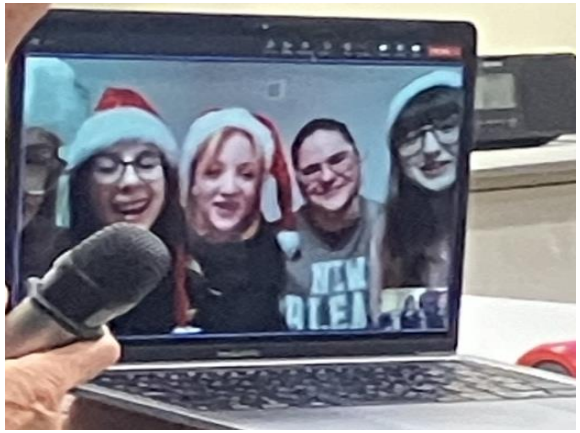
東京都立本所高等学校（都側）
英語部　４名

3. 交 流 相 手

ポーランド共和国
Pruszcz Gdański
Zespół Szkół Ogrodniczych i Ogólnokształcących　５名



↑発表を熱心に聞く本所高校の生徒



↑ポーランド側はサンタクロースの衣装で参加

4. 当日のスケジュール

① 挨拶
② 都側生徒の自己紹介・発表
　・自分自身や趣味等について画像を共有しながら発表
　・質疑応答
③ ポーランド側生徒の自己紹介・発表
　・ポーランドのクリスマス等について画像を共有しながら発表
　・質疑応答
④ 終わりの挨拶

5. 参加者の様子等

◆ポーランド側はパワーポイントを使用し、ポーランドのクリスマスを中心に紹介した。

◆両校とも少人数での参加だったため、全員が均等に時間を使い、自国のクリスマスの様子や自分の趣味等について和気あいあいと話していた。

◆本所高校は、過去にもポーランドの高校と交流を行ったため、過去の交流についても説明していた。

中等教育学校

ビデオチャット

東京都立南多摩中等教育学校
ベトナムの学校とのビデオチャット交流

1. 日時・場所

日時：2021年7月19日（月）
　　17：00～18：15
場所：zoomによる開催

2. 参　加　者

東京都立南多摩中等教育学校（都側）
４年生　４名

3. 交 流 相 手

ベトナム社会主義共和国
ハノイ市
Chu Van An High School

画面に映る背景のセット

↑ベトナム側の生徒による飲み物

↑世界遺産について発表する都側の生徒

4. 当日のスケジュール

① 挨拶・流れの確認（都側から）
② 人気のあるお菓子・飲み物の紹介（都側から）
③ 人気のあるお菓子・飲み物の紹介（ベトナム側から）
　例）アイスティー、ベトナムコーヒー
④ 日本の世界遺産（都側から）
　・知床、姫路城、法隆寺
⑤ 質疑応答
　例）日本に行ったら訪れるべき場所はどこか。
⑥ 終わりの挨拶

5. 参加者の様子等

◆ 都側の生徒は、学校から参加していたためマスクを着用していたが、ベトナム側の生徒は、各々の自宅から参加していたためマスクを着用しておらず、よく表情が見えた。
◆ 両校の生徒はプレゼンテーションをしっかりと準備しており、堂々と発表していた。
◆ 質疑応答の時間では、都側の生徒はベトナム側の生徒の質問を注意深く聞き取ろうとしていた。また、都側の生徒は質問に対する回答をグループで話し合い、的確に伝えようとする意欲的な姿勢が見られた。
◆ ビデオチャットの終了後は「次からはもっと早く質問に答えられるようにしたい。」という感想が聞かれた。

ビデオチャット交流

東京都立三鷹中等教育学校
台湾の学校とのビデオチャット交流

1. 日時・場所

日時：2022年６月１日（水）
　　14：00～15：05
場所：東京都立三鷹中等教育学校

2. 参　加　者

東京都立三鷹中等教育学校（都側）
４年生　38 名

3. 交 流 相 手

台湾
國立羅東高級中學

↑グループごとに分かれて着席し、
タブレット画面に向かって交流

↑交流の最後に画面越しの記念撮影を楽しむ生徒たち

4. 当日のスケジュール

① 自己紹介
　・ブレイクアウトルームへ入室後、各グループごとに
　　１人30～40秒程度で順に自己紹介
② 京都・奈良の魅力について紹介（都側から）
　・スライドを共有しながら発表
　・質疑応答
③ ポップカルチャーについてのMV発表（台湾側から）
　・自作のMV（Music Video）を紹介
　・質疑応答
④ 終わりの挨拶

5. 参加者の様子等

◆ 都側の生徒は、１人１台タブレット端末を使用し、オンライン会議システムのブレイクアウトルームを活用し、交流を行った。
◆ 台湾側の生徒は、新型コロナウイルス感染症の影響により、各自宅からの参加となった。
◆ 都側は、ハウリングを防止するため、14のグループが4部屋に分かれ、距離を置いて着席し、それぞれ持参したイヤホンを使用した。
◆ 自己紹介では小さな声で控えめに話していた生徒も、ポップカルチャーについての質疑応答時には、大きな声で大変楽しそうに自分の好きなアイドル等について話していた。

ビデオチャット交流

東京都立桜修館中等教育学校
モンゴルの学校とのビデオチャット交流

1. 日時・場所

日時：2022年11月２日（水）
　　15：45～17：00
場所：
東京都立桜修館中等教育学校

2. 参　加　者

東京都立桜修館中等教育学校（都側）
生徒会役員生徒 ５名

3. 交 流 相 手

モンゴル国
Khuder Secondary School

←グループに分かれて
日本を紹介

←窓の外の景色を紹介

↑参加生徒全員で協力して交流を進行した。

4. 当日のスケジュール

① 生徒による自己紹介

② 学校紹介

③ 部活動紹介

④ 地域紹介

⑤ 終わりの挨拶

5. 参加者の様子等

◆東京とモンゴルの学校から５名ずつ参加し、生徒主体の交流となった。

◆都側の生徒は、スライドを使いながら、学校や部活動、地域を相手校に熱心に説明していた。

◆モンゴル側が校内をPC画面に映した後、都側も校舎の窓から外の風景等を見せていた。

ビデオチャット交流

千代田区立九段中等教育学校

オーストラリアの学校とのビデオチャット交流

1. 日時・場所

日時：令和５年５月18日（木）
２組 10：50～11：15
３組 11：50～12：10
４組 13：10～14：00

2. 参　加　者

千代田区立九段中等教育学校（都側）
前期課程　２年２組～４組
120名

3. 交 流 相 手

オーストラリア連邦
Burwood Girls High School
日本語クラス　８年生、９年生
（日本の中学２年生、３年生）

↑画面越しに英語で質問し合う様子

←オーストラリア側生徒の発表に聞き入る様子

代表グループによる発表→

4. 当日のスケジュール

① 開始挨拶

② 日本側からの発表・質疑応答
テーマ「日本の屋台文化」
【２組】代表グループによる全体発表・質疑応答

【３組】10グループに分かれ発表・質疑応答

【４組】１．10グループに分かれ発表・質疑応答
２．代表グループによる全体発表・質疑応答

③ まとめ、終了挨拶

5. 参加者の様子等

◆ 日本側の生徒たちは写真を盛り込んだスライドを見せながら、英語で説明を行った。質疑応答では、オーストラリア側からの英語での質問を聞き取ったり、英語で回答をすることに苦戦する場面もあったが、グループで協力し、教科書やインターネットを駆使して調べる等してコミュニケーションをとり、交流を楽しんでいた。

◆ オーストラリア側の生徒は日本語を勉強しており、流ちょうに日本語を話す姿に日本側の生徒から感嘆の声が上がっていた。

◆ 交流開始時はどちらの国の生徒も緊張している様子だったが、交流を通して次第に打ち解け、終了時には画面越しに手を振り続け別れを惜しんでいた。

ビデオチャット交流

千代田区立九段中等教育学校

オーストラリアの学校とのビデオチャット交流

1. 日時・場所

日時：2023年6月15日（木）
　　10：50～11：15
場所：千代田区立九段中等教育学校

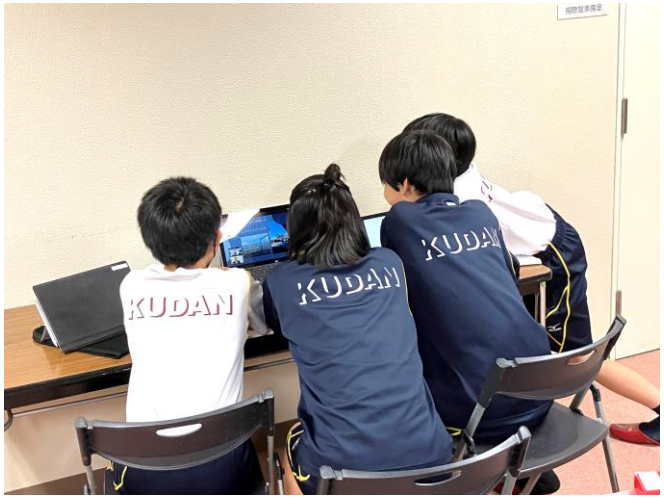
2. 参　加　者

千代田区立九段中等教育学校（都側）
２年２組　40名

3. 交 流 相 手

オーストラリア連邦
Burwood GHS　８年生21名

↑10グループに分かれ、各グループは
十分に距離を取って交流を行った



↑個別セッション

4. 当日のスケジュール

①<u>個別セッション</u>
・ブレイクアウトルームに入室後、各グループは屋台文化、将来の夢、私の家族紹介などのテーマに沿って交流

②<u>全体合同セッション</u>
・タブレット端末を用いて、各自がテーマ毎に用意した画像でプレゼンテーション
・質疑応答

③<u>終了の挨拶</u>

5. 参加者の様子等

◆ 生徒は４人１グループに分かれ、ブレイクアウトルームを活用して交流を行った。

◆ 都側の生徒は、屋台の食べ物(お好み焼き、ラーメン等) を紹介するクイズをあらかじめ用意する等、交流に向けて工夫を凝らしていた。

◆ 生徒は、時折ジェスチャーも交えながら活発に交流していた。

◆ オーストラリア側の生徒が指でハートマークを型取って挨拶した際は、都側から”かわいい”と歓声が上がる等、盛り上がっていた。

特別支援学校

ビデオチャット

東京都立足立特別支援学校
台湾の学校とのビデオチャット交流

1. 日時・場所

日時：2021年11月10日（水）
　　11：00～12：00
場所：東京都立足立特別支援学校

2. 参　加　者

東京都立足立特別支援学校（都側）
２年生　９名

3. 交 流 相 手

台湾
國立屏東特殊教育學校
２～３年生　９名

↑和太鼓を
演奏する生徒

↑中国語での挨拶を練習する生徒

↑発表する生徒

4. 当日のスケジュール

① 両校の校長による挨拶

② 生徒による発表（台湾側から）

・自己紹介、学校紹介（位置、清掃の仕方、飼育している動物）、校歌斉唱

③ 生徒による発表（日本側から）

・自己紹介（好きなもの）、日本の紹介（富士山、桜、相撲、寿司、沖縄等）、和太鼓の演奏

④ 質疑応答

（全て日本語⇔中国語の通訳を介して実施された。）

5. 参加者の様子等

◆ 日本側の生徒は、オーストラリア、シンガポール、日本等のオリンピックのポロシャツを着て、交流に参加した。

◆ 日本側の生徒は、交流の開始時と終了時に元気に挨拶をしていた。

◆ 台湾側の生徒が足立特別支援学校の校章を映した時、日本側の生徒はとても嬉しそうにしていた。

◆ 交流の開始前に日本側の生徒から「緊張する」といった声が聞こえたが、生徒同士で励まし合う様子が見られた。

ビデオチャット交流

東京都立立川学園（高等部）

ニュージーランドの学校とのビデオチャット交流

1. 日時・場所

日時：2023年9月11日（月）
　　9：00～10：00
場所：東京都立立川学園(高等部)

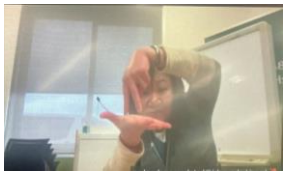
2. 参　加　者

東京都立立川学園（高等部）（都側）
３年生　15名

3. 交 流 相 手

ニュージーランド　オークランド州
Ko Taku Reo Enrolled School
Transitionクラス　11名

自己紹介を
行う生徒→



←立川学園の発表

←手話通訳で
理解する生徒

4. 当日のスケジュール

① 挨拶
　・立川学園　挨拶
　・Ko Taku Reo Enrolled School 挨拶
② ニュージーランド側よりマオリのお祈り
③ 両校交互に自己紹介
④ 立川専攻科（５名）より、自己紹介と制作物の紹介
⑤ フリートーク（Q＆Aなど）
⑥ ニュージーランド側よりマオリのお祈り

5. 参加者の様子等

◆今回のオンライン交流では、Ko Taku Reo Enrolled School の小林香里先生に、日本手話-NZ手話の通訳をしていただいた。

◆立川学園の発表者はそれぞれ自作のチラシを持参し、有名なアニメや、生徒自身が描いたイラスト等を紹介した。ニュージーランドの生徒からの反応が良く、大いに盛り上がった。

◆ニュージーランドの生徒は、各生徒が自身の名前を日本語で書いて紹介を行った。ジンバブエの出身者等、多国籍の生徒がおり、ジェスチャーを交えながら自己紹介を行っていた。

事例紹介

在京大使館等との交流

幼稚園

大使館交流

千代田区立いずみこども園
駐日マレーシア大使館による学校訪問

1. 日時・場所

日時：2022年９月13日（火）
　　10：30～11：15
場所：千代田区立いずみこども園

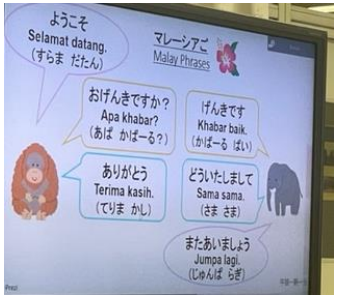
2. 参　加　者

千代田区立いずみこども園（都側）
年中（５歳児）　34名

3. 交 流 相 手

駐日マレーシア大使館
タンゲスワリ パレスワラン一等書記官

↑マレーシアの代表曲「ラサ・サヤン」の弾き語り



←マレー語の挨拶

積極的にタンゲスワリ一等書記官に質問をする園児たち　→

4. 当日のスケジュール

① 講師来校

② 講演会開催

・マレーシアの観光ビデオの上映と国の概要紹介

・マレーシアの絵本の読み聞かせ

・マレーシアの代表曲・ウクレレの弾き語り

③ 終了後　記念撮影・挨拶

5. 参加者の様子等

◆園児は、マレーシアの観光ビデオを観賞しながら、「あの鳥は何？」「日本で見たことないよね。」等と話し、興味津々な様子だった。

◆園児から「テングザルはどこにいますか？」といった、動物や虫についての質問が多く出た。

◆最後にタンゲスワリ一等書記官がマレーシアの代表曲「ラサ・サヤン」をウクレレで弾き語りしたところ、園児から「アンコール！」の声が上がった。また、園児たちはすぐに歌詞やメロディーを覚えて「ラサ・サヤン…」と歌っていた。

大使館交流

千代田区立いずみこども園

モザンビーク共和国大使館による学校訪問

1. 日時・場所

日時：2023年9月22日（金）
11:00～11:30
場所：千代田区立いずみこども園

2. 参　加　者

千代田区立いずみこども園（都側）
年長組

3. 交 流 相 手

駐日モザンビーク共和国大使館
フランシスコ・ボアヴィーダ・
ザンダメラ様

↑講演はポルトガル語と日本語で
行われた。

↑大使館員の手作りの糸電話

4. 当日のスケジュール

① 挨拶
② モザンビーク大使館による講演
・モザンビークの概要紹介
・モザンビークの子供の遊びについて
・民族人形・楽器について
③ 質疑応答
④ 閉会のことば

5. 参加者の様子等

◆モザンビークの概要紹介において、モザンビークの地図上の位置や国土の広さ、気候、国旗、言語等の基本情報をご紹介いただいた。

◆モザンビーク～日本間は飛行機で21時間かかると紹介があると、園児からは「1日があと3時間しか残らない」と驚きの声があがった。

◆モザンビークの子供の遊びについて、糸電話や缶ぽっくり等をご紹介いただいた。糸電話を実際に使用し、大使館員と「もしもし」と話し、交流する園児もいた。

小学校

留学生による講演

豊島区立長崎小学校
独立行政法人日本学生支援機構による講師派遣

1. 日時・場所

日時：2021年10月27日（水）
　　10：40～11：25
場所：豊島区立長崎小学校

2. 参　加　者

豊島区立長崎小学校（都側）
４年生　39名

3. 交 流 相 手

（独）日本学生支援機構より派遣された留学生講師１名
（ボスニア・ヘルツェゴビナ）

↑講師にお礼を伝える児童

↑講師とボスニア語で会話をする児童

↑講演の様子

4. 当日のスケジュール

① 講師による出身国の紹介
　・地理、人口、宗教、自然
　・首都の紹介（街並みやオリンピックの歴史）
② ボスニア語での挨拶や自己紹介の練習
③ 質疑応答
　例）・どのような教科を勉強するのか。
　　・学校に制服はあるか。
　　・日本から伝わった有名なものは何か。
④ 児童によるお礼の言葉
（上記②以外は日本語で実施）

5. 参加者の様子等

◆講演の途中には、動画の観賞や講師から児童への質問等もあり、児童は集中して講演を聞いていた。

◆ボスニア語での挨拶や自己紹介を学んだ後、覚えた単語を使って隣の児童と練習をしたり、舞台に上がって講師と会話をしたりする等、実際にボスニア語を使用する時間が豊富だった。

大使館交流

目黒区立下目黒小学校
ツバル名誉総領事館とのオンライン交流

1. 日時・場所

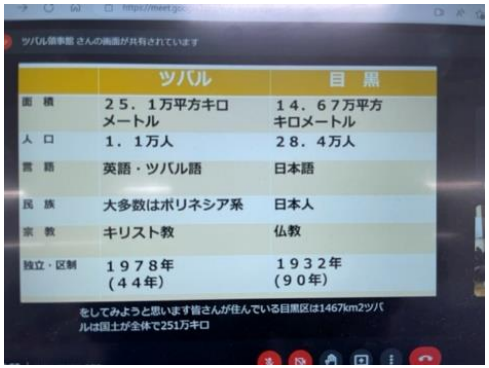
日時：2022年11月17日（木）
　　10：05～10：50
場所：目黒区立下目黒小学校

2. 参　加　者

目黒区立下目黒小学校（都側）
４年生　３クラス84名

3. 交 流 相 手

在東京ツバル名誉総領事館
名誉総領事　遠藤　久高様



↑目黒区とツバルの比較表

4. 当日のスケジュール

① 講師紹介、児童からの挨拶
② 名誉総領事よりツバルについての説明
　（ナタノ首相からのビデオメッセージ紹介、国の概要、
　　「沈みゆく国ツバル」の現状等）
③ 質疑応答
④ 終わりの挨拶

5. 参加者の様子等

◆領事館より前もって送付いただいた配布資料を用いて事前学習を行った。
◆お借りしたツバルの民族衣装を代表児童が着用したり、民芸品・硬貨を手に取ったりして、貴重な資料を有意義に活用していた。
◆ツバルと目黒区の大きさの比較等、説明は児童に分かりやすい内容であった。
◆気候変動やSDGsにも触れ、世界に目を向ける機会になった。
◆児童からは、「ツバルに行きたくなった。」「環境のために自分にできることを考えていきたい。」等の感想があがった。

国際関係団体との交流

中央区立阪本小学校
チェコのダンスグループとの交流

1. 日時・場所

日時：2023年5月9日火）
　　10：45～11：30
場所：中央区立阪本小学校

2. 参　加　者

中央区立阪本小学校（都側）
４～６年生　約90名

3. 交 流 相 手

駐日チェコ共和国大使館から紹介された
公益社団法人日本フォークダンス連盟のダンス
グループValaška（ヴァラシュカ）
ダンサー：イトゥカ・ボヌショヴァー様
　　ヤン・プムプル様
演奏者　：オンドゥジェイ・ヴェセリー様
　　トマーシュ・フィエドゥレル様
通訳　　：横山　寿子様

←ダンスのお手本を
披露する講師

↓講師の皆様の紹介

↑１曲目は学年ごとの輪で、2曲目は全体で一つの大きな
輪を作って踊った

4. 当日のスケジュール

① 挨拶（日本語、チェコ語）
　・副校長先生より講師紹介
　・講師による挨拶（日本語、チェコ語）
② 通訳の方によるチェコ共和国の紹介
　・チェコの基本情報についての講演及びクイズ
③ 楽器の紹介
④ チェコダンス体験
⑤ 児童からのお礼の挨拶
⑥ 写真撮影

5. 参加者の様子等

◆ 阪本小学校の児童は、はじめに全員で「ドブリーデン」とチェコ語で挨拶をした。

◆ 通訳の方に、クイズを交えながらチェコ共和国の概要について講演を行っていただいた。

◆ チェコダンス体験では、2曲のフォークダンス曲を体験した。「靴職人」という曲では、靴をトンカチでたたく様子等、踊りの意味も教えていただきながら練習し、最後に全員で1曲通してダンスを踊った。

大使館交流

日野市立潤徳小学校
エジプト・アラブ共和国大使館による学校訪問

1. 日時・場所

日時：2023年７月14日（金）
９：35～11：25
場所：日野市立潤徳小学校

2. 参　加　者

日野市立潤徳小学校（都側）
６年生の全３クラス109名

3. 交 流 相 手

駐日エジプト・アラブ共和国大使館
文化・教育・科学局
森下様
ファトヒ様（※オンライン参加）

↑エジプトの紹介

↑花火の紹介

↑風鈴の紹介

4. 当日のスケジュール

① 挨拶
・児童によるアラビア語の歓迎
② エジプト大使館によるエジプトの紹介(日本語)
・歴史、文化、食事、服装、大使館での仕事等、
幅広いトピックについて紹介
③ 潤徳小学校の児童による発表 (英語)
・代表児童12名による日本の夏の風物詩についての紹介
・発表内容について森下様とファトヒ様からコメント
④ 質疑応答(日本語)

5. 参加者の様子等

◆エジプト大使館の森下様によるエジプトの紹介は、動画や写真を使用して行われ、児童は集中して耳を傾けていた。

◆児童は自身が選んだ花火大会、風鈴、スイカ割りやお祭り等のトピックについて、スライドを用いて元気良く英語で紹介した。

◆質疑応答では、エジプトの夏の過ごし方や服装、移動方法、スポーツ、治安、災害、 物価、現地で有名な日本企業等、幅広いトピックに対して、児童から30以上の質問が出た。

大使館交流

世田谷区立京西小学校
インド大使館への訪問

1. 日時・場所

日時：2023年10月５日（木）
　　10：00～11：30
場所：駐日インド共和国大使館

2. 参　加　者

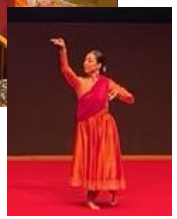
世田谷区立京西小学校（都側）
児童　106名（３年生）
教員　４名

3. 交 流 相 手

駐日インド共和国大使館
特命全権大使：シビ・ジョージ閣下
ヴィヴェーカナンダ文化センター
カニカ・アガルワル所長

↑質問に対して盛んに手が挙がった

↓駐日インド大使との記念撮影



カタックダンスの実演→

4. スケジュール

① インド大使館より講師等の紹介
② 講演
③ ヨガワークショップ
④ カタックダンス鑑賞
⑤ 大使挨拶
⑥ 記念撮影
⑦ タブラ（太鼓）の紹介と演奏の鑑賞
⑧ 終わりの挨拶

5. 参加者の様子等

◆児童はインドについて事前学習を行った上で交流に臨んだ。

◆ヨガは、座ったままでできるポーズを教えていただき、児童全員で挑戦した。

◆美しい衣装と宝飾を身につけたカタックダンサーの優雅な姿を見て、児童からは、「イメージしていたとおりのインドの踊りだった」「本物が見られて嬉しかった」との声が上がった。

◆タブラ（太鼓）の演奏では、２人の演奏者に大きさの違う４つのタブラについてご説明いただいた後、演奏を観賞した。

大使館交流

西東京市立碧山小学校
モルディブ共和国大使館による学校訪問

1. 日時・場所

日時：2023年10月25日（水）
　　11：30～12：15
場所：西東京市立碧山小学校

2. 参　加　者

西東京市立碧山小学校（都側）
児童　100名（６年生）
教員　６名

3. 交 流 相 手

駐日モルディブ共和国大使館
シャフラズ　ラシード一等書記官

↑クイズに回答

↑大使館員のお見送り

4. スケジュール

① 講師紹介
② 挨拶
③ 大使館よりプレゼンテーション
　・挨拶の練習、クイズ
④ 代表児童よりお礼の言葉
⑤ 記念品贈呈
⑥ 記念撮影
⑦ 給食

5. 参加者の様子等

◆プレゼンテーションでは、モルディブの地理等を分かりやすくご説明いただいた。

◆モルディブは気候変動の脅威にさらされており、ラシード一等書記官から児童に対し、ぜひこの問題について一緒に考え、対策に取り組んでほしいとのメッセージがあった。

◆大使館員は6年生の各クラスに分かれ、児童たちと給食を食べた。

大使館交流

目黒区立下目黒小学校
ポーランド共和国大使館への校訪問

1. 日時・場所

日時：2023年11月22日（水）
10:00～11:00
場所：ポーランド共和国大使館

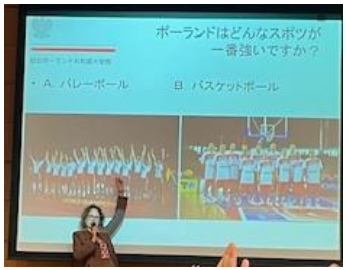
2. 参　加　者

目黒区立下目黒小学校（都側）
４年生　90名

3. 交 流 相 手

駐日ポーランド共和国大使館
Agnieszka Klausa 参事官

↑質疑応答の様子



↑ポンチュキ（ポーランドの伝統菓子）

4. 当日のスケジュール

① 挨拶
② 講師紹介
③ 講演
④ クイズ
⑤ 質疑応答
⑥ ティータイム
⑦ 写真撮影
⑧ お礼の言葉

5. 参加者の様子等

◆ 下目黒小学校の児童はポーランド語での挨拶を事前に練習し、元気に”Dzień dobry”（こんにちは）と挨拶した。

◆ 講演では、ポーランドの基本情報や観光名所、食べ物、音楽、民族衣装等について紹介いただいた。

◆ 児童からは「どんな姓が多い？」「日本と似ているところは？」等多くの質問が挙がった。

◆ ポーランドの伝統菓子である「ポンチュキ」をお土産にいただきました。

大使館交流

青ヶ島村立青ヶ島小中学校
メキシコ合衆国大使館による学校訪問

1. 日時・場所

日時：2023年12月５日(火)
　　13：20～14：10
場所：青ヶ島村立青ヶ島小中学校

2. 参　加　者

青ヶ島村立青ヶ島小・中学校（都側）
全校生徒　８名　教職員　21名
村長・住民の方

3. 交 流 相 手

駐日メキシコ合衆国大使館
大使：Melba María Pría Olavarrieta閣下
学術･科学技術部：Jina Hernández様

←Melba大使と
記念撮影

←Melba大使と交流する
児童・生徒たち

↑みんなで作ったピニャータを、
目隠しをして元気に割る児童・生徒たち

4. スケジュール

① 挨拶
② 国際交流会　第１部
　・児童・生徒による発表
　・メキシコ大使館による講演
③ 児童・生徒と昼食
④ 国際交流会　第２部
　・ワークショップ（ピニャ－タ作り）
　・児童・生徒による感想、質問
　・児童・生徒による合唱
⑤ 児童・生徒によるお礼の言葉・記念撮影

5. 参加者の様子等

◆ １泊２日で駐日メキシコ大使が青ヶ島村立青ヶ島小・中学校を訪問した。

◆ メキシコでは、お祭りや祝い事の際にお菓子やミカン等の果物が入った「ピニャータ」というくす玉のようなものを作り、それを割って祝う。国際交流会の第２部では、ピニャータ作りのワークショップが開かれた。交流会には住民の皆さんも参加して、全員で２つのピニャータを作った。

◆ ピニャータを割る際には、大使館側から送られたパペルピカード（切り紙）が飾られた。「ピニャータ割りの歌」を歌い、目隠しをした児童・生徒がピニャータを割った。

◆ 担当の教員からは「今回の交流は児童・生徒及び教職員一同にとって、大きな学びとなった」とのコメントがあり、大使館側からは、教員や島民の方々の温かいおもてなしに感動したというコメントをいただいた。

中学校

留学生による講演

練馬区立光が丘第二中学校
独立行政法人日本学生支援機構による講師派遣

1. 日時・場所

日時：2021年10月7日（木）
　　8：45～10：35
場所：練馬区立光が丘第二中学校

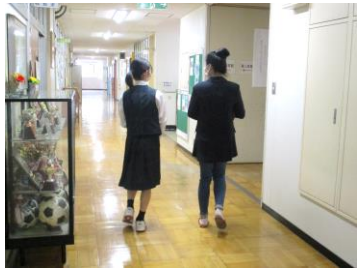
2. 参　加　者

練馬区立光が丘第二中学校（都側）
１年生　４クラス

3. 交 流 相 手

（独）日本学生支援機構より派遣された留学生講師４名
（キルギス共和国、中華人民共和国、ラオス人民民主共和国、ボスニア・ヘルツェゴビナ）

↑講師にプレゼントを渡す



↑講師を教室まで案内する生徒

↑講演の様子

4. 当日のスケジュール

① 生徒による講師の出迎え
② 講師による出身国の紹介（文化、歴史、言語、通貨等）
③ 質疑応答
④ 生徒による挨拶、プレゼントの贈呈
（全て日本語で実施）

４名の講師は１時限目と２時限目にそれぞれ異なるクラスで講演をした。（１名の講師につき２回の講演）

5. 参加者の様子等

◆ 各教室の黒板には生徒によるウェルカムメッセージが書かれていた。

◆ 生徒は講師へのプレゼントとして折り紙の作品を用意していた。

◆ 質疑応答の際にはどのクラスでも質問がよく出ていた。

◆ 休憩時間には講師に教わった挨拶を練習している生徒がいた。

大使館交流

練馬区立中学校国際理解教育担当の教員による
パラグアイ共和国大使館への訪問

1. 日時・場所

日時：2022年11月4日（金）
　　15：00～16：00
場所：パラグアイ共和国大使館

2. 参　加　者

（都側）練馬中学校、大泉西中学校、
石神井中学校、大泉学園中学校、
開進第一中学校、大泉中学校の教員　６名

3. 交 流 相 手

駐日パラグアイ共和国大使館
フアン マヌエル ペーニャー等書記官
大使秘書　クマガイ･ヤマシタ メルジャン･メグミ様

↑表と裏が違うパラグアイの国旗

4. スケジュール

① 東京都国際交流コンシェルジュ事務局による事業説明

② 大使館との意見交換及び質疑応答

③ 挨拶・記念撮影

5. 参加者の様子等

◆練馬区内の国際理解教育に関する勉強会に参加している先生方の、「まずは自分たちで国際交流を体験することから始めたい。」との想いから、今回の交流に至った。

◆質疑応答では、国民性や生活環境、平和への思い、音楽について等、様々な視点から質問があった。

◆パラグアイの教育制度についての質問では、午前に学校に通う生徒と午後に通う生徒がいること、また、初等教育は８歳から17歳までであること等について、大使館からご説明いただいた。

◆参加した先生方からは、「新しい発見があった。」等の感想をいただいた。

大使館交流

東京都立両国高等学校附属中学校
オマーン・スルタン国大使館への訪問

1. 日時・場所

日時：2023年4月28日（金）
　　10：30～11：30
場所：オマーン・スルタン国大使館

2. 参　加　者

東京都立両国高等学校附属中学校（都側）
２年３組　40名

3. 交 流 相 手

駐日オマーン・スルタン国大使館
アルシィヤビ・イナス二等書記官
久保 美紀様

↑オマーン特産物の乳香
（フランキンセンス）

↑衣装体験で帽子をかぶせて
もらった生徒

↑民族衣装着用後の記念撮影

4. スケジュール

① 都立両国高校附属中学校の代表生徒による挨拶

② アルシィヤビ二等書記官による講演

③ 質疑応答

④ 民族衣装着用体験

⑤ 名産品デーツの試食とスパイスの入ったコーヒーの試飲

⑥ 都立両国高校附属中学校校歌斉唱

⑦ 記念撮影

⑧ お礼の言葉

5. 参加者の様子等

◆参加生徒は、事前に学習したアラビア語の挨拶「アッサラーム アレイクム」を実際に使って、挨拶を行った。

◆アルシィヤビ二等書記官による講演では、オマーンの地理や世界遺産、日本との関係等幅広いテーマでお話しいただいた。

◆質疑応答の後、参加生徒は、大使館側にご準備いただいたオマーンの名産品（デーツとコーヒー）を楽しんだ。

◆交流の最後にアルシィヤビ二等書記官から生徒に向けて、「他国に行くと、自国の良いところもよく理解できる。ぜひ、将来、国と国との懸け橋となり、世界で活躍してください。」とのお言葉があった。

大使館交流

東京都立両国高等学校附属中学校
イラン・イスラム共和国大使館への訪問

1. 日時・場所

日時：2023年4月28日（金）
　　14：00～16：30
場所：イラン・イスラム共和国大使館

2. 参　加　者

東京都立両国高等学校附属中学校（都側）
2年1組　40名

3. 交 流 相 手

駐日イラン・イスラム共和国大使館
ペイマン・セアダット大使

↑ペルシャ絨毯の説明を受ける生徒

↑講演の様子

4. スケジュール

① 挨拶
② セアダット大使による講演
③ 質疑応答
　例）・イランの文化について
　　・イランと日本の歴史的な関わり
　　・イランと日本の文化の違い
④ 参加生徒による校歌斉唱
⑤ 記念撮影

5. 参加者の様子等

◆ 交流開始前に、参加生徒は大使館内の展示物を観覧し、イランのペルシャ絨毯について説明を受けた。

◆ セアダット大使に、イランの気候や歴史、文化等について講演を行っていただいた。

◆ 質疑応答では、イランや日本の文化等について生徒から多くの質問が挙がった。

◆ 参加生徒は、メモをとりながら非常に熱心に話を聞いてた。

大使館交流

東京都立両国高等学校附属中学校

エジプト・アラブ共和国大使館への訪問

1. 日時・場所

日時：2023年４月28日（金）
　　14：00～16：00
場所：エジプト・アラブ共和国
　　大使館文化・教育・科学局

2. 参　加　者

東京都立両国高等学校附属中学校（都側）
２年４組　40名

3. 交 流 相 手

駐日エジプト・アラブ共和国大使館
文化・教育・科学局
森下 恵子 秘書官

↑大使館によるプレゼンテーションの様子

↑カラフルな伝統衣装体験を楽しむ生徒たち

4. スケジュール

①挨拶

②エジプト・アラブ共和国紹介動画視聴

③大使館によるプレゼンテーション

④質疑応答（あらかじめ用意された７の質問＋追加質問）

⑤伝統衣装体験

⑥記念品贈呈、お礼の歌のプレゼント

5. 参加者の様子等

◆ プレゼンテーションでは、地理や気候の特徴、歴史と宗教、古代建造物、文化等について多数の写真を交えて紹介された。

◆ 質疑応答では事前に用意した7名からの質問に加え、エジプトで人気がある日本の食べ物や、気候の違いによる生活リズムの違い、断食中の飲食について等、プレゼンテーションの内容を受けた追加の質問も複数挙がった。

◆ 伝統衣装体験では、現地の普段着であるガラベーヤを試着した。

◆ 色とりどりの衣装の中から好みのものを選ぶ際には、あちらこち　らで歓声が上がった。女子生徒は頭にスカーフを、男子生徒は帽子をそれぞれまとい、イスラム教徒の慣習も併せて体験した。

大使館交流

練馬区中学校教諭
シンガポール共和国大使館への訪問

1. 日時・場所

日時：2023年６月30日（金）
　　15:00～16：00
場所：シンガポール共和国大使館

2. 参　加　者

（都側）練馬区立中学校教員　計４名
練馬中学校２名、石神井中学校１名、
貫井中学校１名

3. 交 流 相 手

駐日シンガポール共和国大使館
ダレル・チュア参事官

↑大使館内の日本風応接室で交流

←参事官の説明に
熱心に耳を傾ける参加者

食についてのテーマも取り扱った→

4. スケジュール

① 挨拶、名刺交換

② ダレル・チュア参事官の自己紹介

③ 座談会形式でのシンガポールの紹介及び質疑応答

④ エントランスの国旗の前で記念撮影

⑤ 大使との挨拶、記念撮影

5. 参加者の様子等

◆先生方の交流のため、講義形式ではなく、座談会のようにカジュアルな雰囲気の中、相互に発言しながらの交流となった。

◆参加された先生方は、事前にシンガポールの成り立ちや歴史、教育システム等に関する質問を大使館へ送付しており、交流の中でダレル・チュア参事官からご回答いただいた。

◆シンガポールは多民族国家であり、人種は中華系が70%、マレー系が12%、 インド系が9%、 その他9%で公用語は英語、中国語、マレー語、タミール語となっているが、民族間のコミュニケーションを図る上では、英語が重要な役割を果たしていると参事官からご説明いただいた。

大使館交流

八王子市立四谷中学校
ブルネイ・ダルサラーム国大使館による学校訪問

1. 日時・場所

日時：2023年７月13日（木）
14：25～15：15
場所：八王子市立四谷中学校

2. 参　加　者

八王子市立四谷中学校（都側）
全校生徒：およそ280名

3. 交 流 相 手

駐日ブルネイ・ダルサラーム国大使館
アタッシェ：ザリナ・アワン・ロスリ様

↑熱心にメモを取りながら講演を聞く生徒

↑伝統工芸品のご紹介

4. 当日のスケジュール

① 国歌紹介
② 挨拶
③ 大使館職員によるブルネイ・ダルサラーム国に関する講演（日本語）
④ 質疑応答
⑤ 伝統工芸品等の紹介
⑥ 代表生徒からのお礼の言葉
⑦ 退場

5. 参加者の様子等

◆ブルネイ・ダルサラーム国に関する講演では、国旗、地理、宗教等様々なトピックについて紹介いただいた。
◆宗教については、国民の大半がイスラム教徒であることや、ラマダン（断食）が明けると１年で１番大きなイベント、ハリラヤ（お祭り）が国中で盛大に行われること、王宮では王族と握手をする機会があり、国民は服を新調して参加すること等、詳細に説明いただいた。
◆伝統工芸品の紹介の中では、豪華な金の刺繍のある生地で作られる男性用の腰巻「シンジャン」 や、伝統的なゲームである「チョンカック」を紹介いただいた。

大使館交流

調布市立第六中学校
トルコ共和国大使館による学校訪問

1. 日時・場所

日時：2023年12月８日（金）
　　14：30～15：20
場所：調布市立第六中学校

2. 参　加　者

調布市立第六中学校（都側）
２年生　143名

3. 交 流 相 手

駐日トルコ共和国大使館
ギュンゲン大使閣下
オズベクー等書記官

←生徒から
冊子贈呈

←トルコ語で
「歓迎」と
書かれた看板

質疑応答→

←講演

4. スケジュール

① 来校
・挨拶と打ち合わせ

② 司会より開会の挨拶と紹介

③ 大使による講演

④ 質疑応答

⑤ 閉会の挨拶
・代表生徒から冊子贈呈とお礼の言葉

⑥ 記念撮影

5. 参加者の様子等

◆ 代表生徒による誘導で、大使と一等書記官は生徒たちに拍手で迎えられながら体育館に入場した。

◆ トルコに関する講演は、大使が自らトルコ語で話し、秘書の方が日本語通訳する形で進められた。トルコの地理的特徴や、トルコと日本の交流の歴史と現在の友好関係、食文化等について説明いただいた。

◆ 質疑応答の際は、生徒が一人ずつ前に出て大使に質問した。

◆ 生徒たちは、同年代のトルコの中学生へ向けて「日本の中学生に人気のもの」をテーマに英語で手紙を書いた。手紙は冊子にまとめられ、「ぜひトルコの中学生にお渡しください。」と、生徒から大使に渡された。

高等学校

大使館交流

東京都立小平高等学校
駐日メキシコ合衆国大使館による学校訪問

1. 日時・場所

日時：2021年6月22日（火）
16：00～17：00
場所：東京都立小平高等学校

2. 参　加　者

東京都立小平高等学校（都側）
２年生・３年生　約 50 名

3. 交 流 相 手

駐日メキシコ合衆国大使館

↑
大使館から配布された
メキシコ料理のレシピ
→

生徒が作成した
チラシ

交流会の終了後に大使館の職員と歓談する
スペイン語履修の生徒たち

4. 当日のスケジュール

① <u>挨拶</u>（英語、スペイン語）
　・代表の生徒による挨拶（スペイン語）
　・大使館の職員による挨拶（英語、スペイン語）
② <u>大使館の職員による講演</u>（スペイン語、日本語）
　・メキシコの文化や観光に関するプレゼンテーション
　・メキシコに関するクイズ
③ <u>質疑応答</u>（英語）
　例）・メキシコで流行っているものは何か。
　　・メキシコでおすすめの場所はどこか。
④ <u>生徒からのお礼</u>（英語）

5. 参加者の様子等

◆ 代表の生徒はチラシを作成し、事前に校内に交流会の参加者募集をしていた。
◆ 教員から「新型コロナウイルス感染症の影響により国際交流の機会が減り、今回は久しぶりのイベントのため、多くの参加者が集まった。」という声が聞かれた。
◆ 生徒は手を挙げたり、英語で発言する等、積極的に参加していた。
◆ メキシコ大使館の職員から「是非また交流会を実施したい。」との発言があった。
◆ 交流会の終了後に、メキシコ大使館の職員と小平高等学校のスペイン語履修の生徒たちが歓談する様子が見られた。

大使館交流

東京都立狛江高等学校
マレーシア大使館への訪問

1. 日時・場所

日時：2022年10月26日（水）
　　10：00～12：15
場所：マレーシア大使館

2. 参　加　者

東京都立狛江高等学校（都側）
１～２年生　有志　18名
教員　4名

3. 交 流 相 手

駐日マレーシア大使館
タンゲスワリ　パレスワラン一等書記官

↑マレーシア大使館の外観

↑タンゲスワリ一等書記官の講演

4. 当日のスケジュール

① 挨拶、大使館についての概要説明

② マレーシアに関する観光ビデオの観賞及び講演

③ タンゲスワリ一等書記官によるマレーシアの歌の弾き語り

④ 記念撮影

⑤ 大使館内の見学

5. 参加者の様子等

◆国際交流に興味のある生徒が参加し、講演は英語で行われた。

◆最初にマレーシアの観光ビデオの上映があり、その後、マレーシアの概要、歴史、多様性、気候等についてご紹介いただいた。質疑応答では、子供の遊びについて等、講演内容以外に関する質問が多く出た。

◆タンゲスワリ一等書記官によって、マレーシアの歌「ラサ・サヤン」の弾き語りが行われ、生徒からは「アンコール！」の声が上がった。

大使館交流

東京都立東高等学校
インド共和国大使館への訪問

1. 日時・場所

日時：2023年７月６日（木）
　　14：30～16：15
場所：インド共和国大使館

2. 参　加　者

東京都立東高等学校（都側）
英語同好会
生徒　１～３年生　12名
教員３名

3. 交 流 相 手

駐日インド共和国大使館
マノジ・シン・ネギー等書記官

←インドについて
発表する生徒

←ネギー等書記官からのクイズ

↑ネギー等書記官に質問

4. スケジュール

① 挨拶
　・ネギー等書記官及び引率の先生による挨拶
　・東高校からの学校紹介
② 生徒によるプレゼンテーション
　・代表生徒３名によるインドについてのプレゼンテーション
③ ネギー等書記官によるインドの紹介
④ 質疑応答、クイズ
⑤ 記念撮影
⑥ 挨拶

5. 参加者の様子等

◆ネギー等書記官から、「大使館の入口に置かれた水に浮かべた花びらには、歓迎の意味がある。」と説明があった。

◆代表生徒３名は、事前学習で調べたインドのベンガルタイガーや食文化、気候等について発表した。

◆ネギー等書記官によるインドについての紹介は、地理や歴史、建築、芸能、観光等、多岐にわたった。

◆参加生徒は質疑応答やネギー等書記官からのクイズに積極的に参加していた。

留学生による講演

東京都立墨田川高等学校
一般財団法人日本国際協力センターによる講師派遣

1. 日時・場所

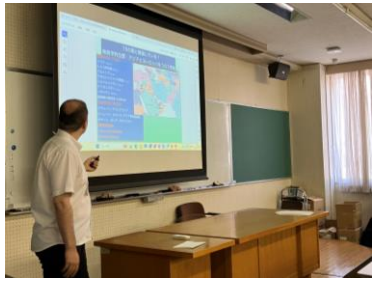
日時：2023年７月31日（月）
　　９：00～11：30
場所：東京都立墨田川高等学校

2. 参　加　者

東京都立墨田川高等学校（都側）
１～３年生　17名

3. 交 流 相 手

（一財）日本国際協力センター
より派遣された留学生講師３名
（イラン、エクアドル、ベトナム）



←留学生による講演

スペイン語の挨拶を→
練習

↑留学生から出題されたクイズの答えを相談

4. 当日のスケジュール

① 挨拶
② アイスブレーク（自己紹介）
③ 講師による出身国の紹介・クイズ
　・地理、国名の由来、食べ物、工芸品、日本への輸出入品等
④ グループワーク
　・日本文化に関するものや一般的な概念を生徒が英語で説明し、留学生が当てるクイズ
⑤ スペイン語講座

5. 参加者の様子等

◆アイスブレークでは、自分の名前や好きなもの、所属する部活等に関連するイラストを描いて説明し、自己紹介をした。

◆グループワークでは、折り紙、扇子、祭り等を、留学生に英語で説明するクイズに挑戦した。グループで知恵を出し合い、説明の仕方や英語表現を考えた。生徒は試行錯誤しながらも、自分たちの英語が伝わる喜びを体感していた。

◆同日午後の在京メキシコ大使館への訪問に向けて、エクアドル出身の学生からスペイン語での挨拶を学んだ。

大使館交流

東京都立墨田川高等学校
メキシコ合衆国大使館への訪問

1. 日時・場所

日時：2023年７月31日（月）
　　14：30～16：15
場所：メキシコ合衆国大使館

2. 参　加　者

東京都立墨田川高等学校（都側）
生徒　16名　教員　４名
合計　20名

3. 交 流 相 手

駐日メキシコ合衆国大使館
学術･科学部　Ms. Jina Hernández様
　　栗原 佑紀子様

↑マヤ暦の作り方を説明

↑グループごとに暦を作成

4. スケジュール

① 挨拶
② メキシコ大使館による講演
　・メキシコと古代文化について
③ アクティビティ
　・マヤ暦作り
　・マヤ暦に関するクイズ
　・生徒からの質疑応答
④ 代表生徒によるお礼の言葉
⑤ 記念撮影

5. 参加者の様子等

◆講演では、スペイン語圏の中でメキシコは最大の国であることや、【MEXICO】という国名の意味、メキシコと日本の近代史等を説明いただいた。

◆生徒はグループに分かれ、古代のカレンダーを作成した。

◆生徒はマヤ暦と現在使われているカレンダーの違いを教わった。作成した古代のカレンダーを使って自身の誕生日を確認したり、クイズの中で今年のクリスマスがマヤ暦でいつに当たるか計算したり、暦の読み方を学習した。

留学生による講演

東京都立墨田川高等学校
一般財団法人日本国際協力センターによる講師派遣

1. 日時・場所

日時：2023年８月１日（火）
　　９：00～15：30
場所：東京都立墨田川高等学校

2. 参　加　者

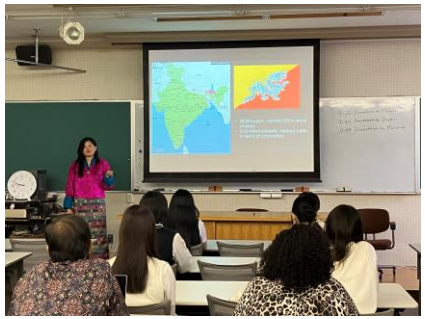
東京都立墨田川高等学校（都側）
１～３年生　11名

3. 交 流 相 手

（一財）日本国際協力センターより派遣された留学生講師５名（ケニア、スリランカ、ブータン、マレーシア、モルディブ）

↑留学生と共通点・相違点を話し合う

←アフリカの国探しゲーム



色鮮やかな伝統衣装をまとった留学生による講演→

4. 当日のスケジュール

① アイスブレーク（自己紹介リレー）
② 講師による出身国の紹介（３か国）
③ グループワーク・発表
　・校内で好きな場所を選び英語で紹介
④ 講師による出身国の紹介・ゲーム（２か国）
⑤ 校内ツアー（③で紹介した場所へ）
⑥ グループワーク・発表
　・留学生の国の学校との共通点・相違点
⑦ 感想の共有・発表

5. 参加者の様子等

◆前日に引き続いてアジア、アフリカ地域５カ国の留学生による国の紹介やクイズ、校内ツアー等を通して、英語で交流を行った。

◆留学生の出身国の学校との共通点・相違点探しでは、留学生の国の校則が厳しいこと等、日本と異なる点について関心を持ち、積極的に質問をする姿が見られた。

◆２日間のイベントを通じて、これまで知らなかった様々な国の話が聞けて楽しかった、今後の英語学習への意欲が高まったといった感想が挙がった。

大使館交流

東京都立狛江高等学校
メキシコ合衆国大使館への訪問

1. 日時・場所

日時：2023年10月26日（木）
　　10：00～11：30
場所：駐日メキシコ合衆国大使館

2. 参　加　者

東京都立狛江高等学校（都側）
生徒　14名
教員　4名

3. 交 流 相 手

駐日メキシコ合衆国大使館
学術・科学担当参事官
エマヌエル・トリニダー様

↑トリニダー参事官

↑記念撮影

4. スケジュール

① 挨拶
② 大使館よりプレゼンテーション
　・日墨外交関係樹立135周年について
　・クイズ
　・質疑応答
③ 代表生徒よりお礼の言葉
④ 記念撮影
⑤ 大使館内「死者の日の飾り」見学

5. 参加者の様子等

◆1888年メキシコが西洋諸国として初めて明治政府と平等条約を締結してから、今年が135年であることから、友好の歴史を中心に参事官からプレゼンテーションが行われた。

◆クイズでは、手を挙げた生徒が、スクリーンに映されたクイズとその選択肢をスペイン語で読み上げた。

◆質問のコーナーでも生徒は積極的に手を挙げ、「どうして外交官になったのか？日本に赴任することが決まってどう思ったか？」等と英語で質問した。

大使館交流

東京都立飛鳥高等学校
インド大使館による学校訪問

1. 日時・場所

日時：2023年10月26日（木）
12：55～14：35
場所：東京都立飛鳥高等学校

2. 参　加　者

東京都立飛鳥高等学校（都側）
２年生　37名

3. 交 流 相 手

駐日インド共和国大使館
ヴィヴェーカナンダ文化センター
カニカ・アガルワル所長

↑ダンスの様子　ヨガの様子↗

←講演

集合写真→

4. 当日のスケジュール

① 校長先生との歓談および大使館より本の寄贈

② 講演

- 日本とインドの国歌斉唱
- インドの概要紹介
- 日本とインドの文化的共通点の紹介
- ポスター製作コンテストの紹介

③ インドのフォークダンス体験

④ ヨガの体験レッスン

5. 参加者の様子等

◆前半は座学の講演を行い、後半は体を動かす体験型の交流を行った。

◆フォークダンスの体験では、インドのリズミカルな音楽に合わせてダンスを踊った。

◆生徒たちは、インドについて知識として学ぶだけではなく、実際に身体を動かしてインドの文化を体験できたため、「とても楽しかった」との声が上がっていた。

留学生による講演

東京都立東大和南高等学校
一般財団法人日本国際協力センターによる講師派遣

1. 日時・場所

日時：2023年12月18日（月）
　　13：20～15：10
場所：東京都立東大和南高等学校

2. 参　加　者

東京都立東大和南高等学校（都側）
生徒 240名

3. 交 流 相 手

（一財）日本国際協力センターより派遣された留学生講師15名
（カンボジア、キルギス、ケニア、スリランカ、中国、バングラデシュ、ベトナム、モンゴル）

↑留学生のプレゼンテーションを聞く生徒

←生徒による発表

←班交流

←お茶の点て方を説明する生徒

4. スケジュール

① 都側生徒が留学生を迎えに行き各クラスに移動
② ５班に分かれ交流
　以下の流れを２回実施
　・留学生のプレゼンテーション
　・質疑応答
　・生徒のプレゼンテーション
③ 別のクラスへ教室移動
④ ５班に分かれ交流
　以下の流れを２回実施
　・留学生のプレゼンテーション
　・質疑応答
　・生徒のプレゼンテーション
⑤ 茶道体験

5. 参加者の様子等

◆各班に留学生が一人ずつ入り交流を行った。プレゼンテーションは、留学生・東大和南高校の生徒が共に英語で行い、留学生は、自国や家族について発表した。各班すぐに打ち解けて話が弾んでいた。

◆生徒はアニメや、和菓子・スナック、おせち等の食べ物、名所や歴史といったテーマをそれぞれ決めて発表した。中にはお菓子を食べたり歌を歌ったり、福笑いや折り紙の体験を用意したグループもあった。

◆交流後、茶道部員による茶道体験が開催された。部員たちは英語で説明し、留学生たちは初めての茶道体験に「素晴らしい経験だった」と感想を述べていた。

中等教育学校

イラン大使館訪問

1. 日時・場所

令和４年10月21日(金)
駐日イラン・イスラム
共和国大使館

2. 参加者

南多摩中等教育学校
第二学年
Bグループ　約80名

3. 当日の日程

13:25 イラン大使館着

13:30 大使館職員の御講演

14:30 参事官との質問タイム

15:00 集合写真撮影

15:10 イラン大使館出発

4．御講演の様子

参事官をはじめとした
大使館の皆様から、
古来より続く文化交流
等について貴重なお話
を
いただきました。

生徒は積極的に質問を
していました。
Q. イラン人の国民性は？
A. 親日的で家族や友人を
非常に大切にします。

スウェーデン大使館訪問

1. 日時・場所

令和４年10月21日(金)
駐日スウェーデン王国
大使館

2. 参加者

南多摩中等教育学校
第二学年
Aグループ　約80名

3. 当日の日程

10:20 スウェーデン大使館到着

10:30 大使館職員の御講演

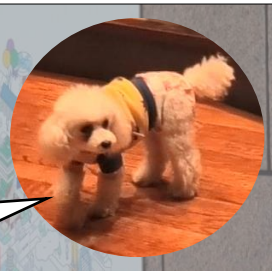
11:30 集合写真撮影

11:35 スウェーデン大使館出発

4．御講演の様子

スウェーデンの地理や歴史、現代の社会政策等について御説明をいただきました。

生徒から**スウェーデンの学校生活**等について質問がありました。



大使館の犬が出迎えてくれました！
スウェーデンでは動物愛護の精神が深く根付いているそうです。

特別支援学校

大使館交流

東京都立足立特別支援学校
欧州連合（EU）代表部による学校訪問

1. 日時・場所

日時：2022年９月14日（水）
　　13：30～14：30
場所：東京都立足立特別支援学校

2. 参　加　者

東京都立足立特別支援学校（都側）
職能開発科１～３年生６クラス 50名

3. 交 流 相 手

駐日欧州連合（EU）代表部
学術協力担当　政治・広報部
リチャード・ケルナー様

↑EUクイズの優勝者にはEUグッズが贈られた

↑EUカルタの様子

4. 当日のスケジュール

① 副校長先生の挨拶
　・講師の紹介

② EU代表部講師による講演
　・EUクイズ

③ EUカルタ
　・代表生徒よりお礼の言葉

④ 記念写真撮影

5. 参加者の様子等

◆EUについて事前学習を行っていたこともあり、生徒は最後までとても興味深そうに講演を聞いていた。

◆生徒は積極的に挙手し、講師も大変感心していた。

◆EUカルタでは、「オーストリア出身の有名な作曲家は誰?」等の問いに、生徒は互いに話し合って写真や絵を選んで回答した。

◆講師がクイズやカルタ等を取り入れて交流内容を工夫し、また、学校の受入れ準備も十分に行われ、心温まる交流会になった。

事例紹介

訪日交流

小学校

訪問交流

練馬区立上石神井小学校

スペインの大学教授による学校訪問

1. 日時・場所

日時：2023年７月６日（木）
13：00～13：45
場所：練馬区立上石神井小学校

2. 参　加　者

練馬区立上石神井小学校（都側）
６年生 34名

3. 交 流 相 手

スペイン王国
CES Don Bosco University
アナ・マルティネス・
ヘルナンデス博士

↑「カノン」についての説明

↑授業を視察するヘルナンデス博士

4. 当日のスケジュール

① 挨拶

② 音楽の授業の視察（6年生）
・ヘルナンデス博士による授業の視察

③ 質疑応答
・音楽専科の板木先生との質疑応答

5. 参加者の様子等

◆音楽の授業では板木先生が「カノン」について説明し、児童がリコーダーで演奏した。

◆ヘルナンデス博士は、日本で行われている音楽の授業のレベルの高さや児童の規律正しさに感銘を受けていた。

◆ヘルナンデス博士は、音楽の授業の外、スペインにはない家庭科の授業があるか等の質問をした。

訪問交流

足立区新田学園　足立区立新田小学校

カザフスタンの教職員による訪問交流

1. 日時・場所

日時：2023年７月14日（金）
　　９：20～12：40
場所：足立区新田学園
　　足立区立新田小学校

2. 参　加　者

足立区新田学園　足立区立新田小学校（都側）
教員 ８名、6年生 224名

3. 交 流 相 手

カザフスタン共和国 アスタナ市
BINOM 学校教育者代表団
教職員 33名、通訳 2名

↑カザフスタンの民族衣装

↑体育の授業の見学

4. 当日のスケジュール

① 挨拶

② カザフスタンの教職員によるプレゼンテーション

・カザフスタンの学校や文化等について

③ カザフスタンの教職員と新田小学校の6年生との交流

④ 校舎見学

⑤ 給食の配膳の様子を見学

⑥ 終わりの挨拶

5. 参加者の様子等

◆カザフスタンの教職員によるプレゼンテーションは、ZOOMを使用して複数クラスに同時に配信された。プレゼンテーションではカザフスタンの学校の紹介や楽器の伴奏・歌が披露された。

◆カザフスタンの教職員は、各教室に分かれて個別に交流を行った。児童からの質問に答えたり、折り紙等を用いた文化交流を行ったりした。

◆カザフスタンの教職員には、授業や給食の配膳に参加・見学していただいた。

訪問交流

世田谷区立京西小学校

ニュージーランドの教員による訪問交流

1. 日時・場所

日時：2023年８月29日（火）
14：30～16：00
場所：世田谷区立京西小学校

2. 参　加　者

世田谷区立京西小学校（都側）
菅谷校長先生

3. 交 流 相 手

ニュージーランド　オークランド
Blockhouse Bay Intermediate School
Principal：Michael Malins先生
Director ：Ellen Chueh先生

↑Blockhouse Bay Intermediate Schoolの
パンフレット（日本語版）

↑京西小学校の正門前で菅谷校長先生と記念写真

4. 当日のスケジュール

① ご挨拶

・菅谷校長先生とご挨拶

② 校内見学

・各教室、プール、体育館を見学

③ 先生方との歓談

④ 記念写真

5. 参加者の様子等

◆ Blockhouse Bay Intermediate Schoolと京西小学校は、オンライン交流の実施を予定している。（実施時期調整中）

◆ 校長室で双方の教育制度について意見交換を行った。その際、東京の学校給食について、Malins先生とChueh先生から多くの質問が挙がった。

◆ 校内見学の際には、Malins先生とChueh先生の希望で最初に給食室を見学した。

◆ 校内見学中、 Malins先生とChueh先生は、屋上のプールを使った水泳の授業があることや、児童が電動のこぎりを扱っていること、家庭科で調理器具を使用すること等、ニュージーランドの学校とは異なる点に驚いた様子だった。

高等学校

訪問交流

東京都立戸山高等学校

アメリカ合衆国の学校による訪問交流

1. 日時・場所

日時：2023年４月４日（火）
13：00～16：45
場所：東京都立戸山高等学校

2. 参　加　者

東京都立戸山高等学校（都側）
生徒会メンバー13名

3. 交 流 相 手

アメリカ合衆国
Annie Wright Schools
生徒会メンバー11名

↑英語による学校紹介

↑小グループに分かれ、会話を楽しむ

4. 当日のスケジュール

① 挨拶
・都側代表の生徒による挨拶
② 学校紹介プレゼンテーション
（都側）スライドを使用して発表
（アメリカ側）ホワイトボードを使用して発表
③ 学校祭について紹介（都側）
④ 質疑応答
⑤ 対話
・２～３名ずつ４グループに分かれて対話
・アメリカ側生徒が制作したミュージックビデオの視聴
⑥ 終わりの挨拶

5. 参加者の様子等

◆都側の生徒は、司会進行とプレゼンテーションをともに英語で行った。

◆学校紹介では、両校の概要や学校生活の紹介に加え、アメリカ側の希望であった生徒会や学校祭についても説明を行った。質疑応答も活発に行われ、情報交換の機会となった。

◆小グループでの対話ではお互いの国のスナックを紹介しあったり、ゲームをしたり、打ち解けて歓談する様子が見られた。

◆ミュージックビデオの視聴では、アーティストに扮して踊るアメリカ側の生徒たちの姿を見て大いに盛り上がった。

訪問交流

東京都立本所高等学校
アメリカの学校による訪問交流

1. 日時・場所

日時：2023年4月8日（土）
　　9：30～12：30
場所：東京都立本所高等学校

2. 参　加　者

東京都立本所高等学校（都側）
生徒　10名
教員・ALT　2名

3. 交 流 相 手

アメリカ合衆国
Hillbrook　Middle School　29名

↑ダンス部の見学

↑箏曲部との演奏体験

↑校庭からスカイツリーを背景に記念撮影

4. 当日のスケジュール

① 歓迎会
② 自己紹介
③ Hillbrook　Middle Schoolによる学校紹介
④ グループごとに校内を見学
⑤ 箏曲部による演奏会・演奏体験
⑥ 日本の伝統的な遊び体験
⑦ 閉会式
⑧ 記念撮影

5. 参加者の様子等

◆今回の交流に向け、都立本所高校の生徒は、春休みから準備を重ねた。

◆校内見学では、両校の生徒で部活動を回り、都立本所高校の生徒が教室や学校の様子を紹介した。

◆ダンス部を見学した際、ダンス部員は、予定していなかったにも関わらずダンスパフォーマンスを披露してくれた。

◆箏曲部員が演奏を披露した後、アメリカの生徒も琴の演奏を体験した。箏曲部員は英語で丁寧に説明を行った。

◆けん玉・折り紙・お手玉を両校の生徒で楽しんだ。

訪問交流

東京都立府中西高等学校

マレーシアの学校による訪問交流

1. 日時・場所

日時：2023年９月18日（月・祝）
13：30～16：00
場所：東京都立府中西高等学校

2. 参　加　者

東京都立府中西高等学校（都側）
合唱部　生徒38名

3. 交 流 相 手

マレーシア　クランタン州
マラ工科大学　クランタン校
駐日マレーシア大使館

←伝統舞踊体験

写真撮影→

文化交流の様子→

4. 当日のスケジュール

① 開会の挨拶と両校の紹介

② 文化交流セッション
・マラ工科大学より歌の披露、伝統衣装「スムタール」と「カイン・バティック・サロン」の着用体験
・伝統舞踊の披露、伝統楽器「コンパン」演奏等

③ 府中西高等学校より歓迎の歌の披露

④ 質疑応答、学生同士の交流時間

⑤ 閉会の言葉、記念撮影

5. 参加者の様子等

◆今回のマラ工科大学による訪問交流は、マレーシア大使館広報部からの紹介によって実現した。

◆マラ工科大学による文化交流セッションでは、マレーシアの民族衣装の着用や伝統舞踊体験等、実践的なプログラムが実施された。府中西高等学校の生徒は、実際に体験することで、マレーシアの文化についてよく理解できた様子であった。

◆府中西高校からは、歓迎の歌として合唱部がマレーシアの民謡を歌った。府中西高校の合唱部は、今年開催された都合唱コンクールにおいて金賞を獲得、また、先日の全日本合唱コンクールにおいて銀賞を受賞しており、その歌唱力で会場全員を魅了していた。マレーシア側からは「大変感激した」と感謝の言葉を頂いた。

訪問交流

東京都立竹早高等学校
マレーシアの学校による訪問交流

1. 日時・場所

日時：2023年9月19日（火）
15：30～17：00
場所：東京都立竹早高等学校

2. 参　加　者

東京都立竹早高等学校（都側）
生徒会・箏曲部
折り紙研究部・茶道部　生徒35名

3. 交 流 相 手

マレーシア　クランタン州
マラ工科大学　クランタン校
駐日マレーシア大使館

↑マラ工科大学による
伝統舞踊の披露

茶道体験→

箏曲部による琴の演奏↓

↓記念撮影

4. 当日のスケジュール

① 開会の挨拶と両校の紹介
② 文化交流セッション（マラ工科大学より）
- 歌の披露、伝統衣装「スムタール」と「カイン・バティック・サロン」の着用体験
- 伝統楽器のビデオ上映
- 代表生徒による伝統楽器「コンパン」演奏の披露、伝統舞踊の披露
- 生徒全員での伝統舞踊体験

③ 文化交流セッション（竹早高等学校より）
折り紙研究部の紹介、生徒会による学校生活紹介ビデオの上映、
茶道体験
④ 質疑応答、学生同士の交流時間
⑤ 閉会の言葉、記念撮影

5. 参加者の様子等

◆マラ工科大学による文化交流セッションでは、竹早高校の生徒たちはマレーシアの民族衣装の着用や伝統舞踊体験等に参加した。

◆竹早高校による文化交流セッションでは、生徒会の呼びかけによって、箏曲部・折り紙研究部・茶道部の３つの部活動が参加した。

◆マラ工科大学の生徒は、茶道部の生徒が主導となり行った茶道体験にとても満足した様子であった。

訪問交流

東京都立芝商業高等学校

台湾の教員による訪問交流

1. 日時・場所

日時：2023年10月16日（月）
15：00～17：00
場所：東京都立芝商業高等学校

2. 参　加　者

東京都立芝商業高等学校（都側）
小室　善之副校長先生
友村　由衣先生

3. 交 流 相 手

台湾訪日教育旅行考察団　31名

↑商業高校・芝商業高校について説明

↑実習室で電話応対を見学

4. 当日のスケジュール

① 商業高校についての紹介

② 芝商業高校の概要及び特色ある取組についての紹介

③ 施設見学、質疑応答等

5. 参加者の様子等

◆芝商業高校の学校紹介に対して、台湾側から多くの質問があり、活発な意見交換が行われた。

◆芝商業高校には室内プールがあり、水泳の授業を長い期間にわたって実施できるため、台湾側が強い関心を示していた。

◆実習室では電話応対を教えることができる設備を見学した。

訪問交流

東京都立忍岡高等学校
フランスの学校による訪問交流

1. 日時・場所

日時：2023年11月６日（月）
　　15：00～17：00
場所：東京都立忍岡高等学校

2. 参　加　者

東京都立忍岡高等学校（都側）
２年生（生活科学科）45名
畑　先生（２年学年主任）
神川先生（生活科学科主任）

3. 交 流 相 手

フランス共和国
Lycée Jean Aicardの先生・生徒各１名
Lycée Dumont d'Urvilleの生徒３名

↑フランスの生徒たちによる自己紹介

↑忍岡高校とフランスの生徒による盆踊り体験

4. 当日のスケジュール

① 自己紹介（フランス側から）
　・校長先生、副校長先生へご挨拶
② 校内見学
　・副校長先生先導で校内を見学
③ 日本伝統文化体験
　・盆踊り体験
④ 日本文化の紹介
　・「推しうちわ」手作り体験
⑤ フランスの地区紹介（フランス側から）
⑥ 記念撮影
⑦ お見送り

5. 参加者の様子等

◆副校長先生と英語科の先生方がフランスの生徒たちに校内を案内した。

◆生活科学科の生徒２クラスが主催し、盆踊りを披露した。また、フランスの生徒にも踊り方を説明し、参加者全員で踊った。

◆都側の生徒による日本文化の紹介では、装飾うちわや折り紙を共に作りながら交流した。

中等教育学校

訪問交流

東京都立立川国際中等教育学校

オーストラリアの学校による訪問交流

1. 日時・場所

日時：2023年４月３日（月）
　　13：00～16：30
場所：東京都立立川国際
　　中等教育学校

2. 参　加　者

東京都立立川国際中等教育学校（都側）
４～５年生　有志、および、
剣道部・弓道部の生徒

3. 交 流 相 手

オーストラリア連邦
Ipswich Grammar School
９～12年生 15名

↑剣道体験

←真剣な表情で説明
する生徒たち

有志による学校前での出迎え
再会を喜ぶ生徒たちの姿も見られた　→

4. 当日のスケジュール

① 挨拶
② オリエンテーション
　・オーストラリア及び日本の生徒全員による自己紹介
③ 日本文化体験
　・剣道部と弓道部の練習に参加
④ 閉会式
　・記念品の贈呈
　・記念撮影

5. 参加者の様子等

◆オーストラリア側は、15名のうち７名が、令和４年度東京体験スクールに参加し、都立立川国際中等教育学校を訪問した生徒だった。（９～12年生は日本の中学３年生～高校３年生に相当）

◆自己紹介では、日本語を学習しているオーストラリアの生徒が、日本語で挨拶をし、参加生徒から喝采を浴びていた。

◆日本文化体験では、２グループに分かれ、剣道と弓道の部活動に交代で参加した。剣道では、掛け声に合わせた素振りの練習や、面や胴の打ち方を体験した。また、弓道では、都側の生徒が弓の扱いを丁寧に教える様子が見られた。

TOKYO
INTERNATIONAL
EXCHANGE
CONCIERGE

TEPRO

（公財）東京都教育支援機構